

JSCM

Japan Society of Care Management

日本ケアマネジメント学会

平成 22 年度総会

日時:平成 22 年 8 月 28 日(土) 11:00~12:00

会場:立教大学 新座キャンパス

(〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26)

Tel.048-471-7258 (大会事務局)

日本ケアマネジメント学会

平成 22 年度総会開催要綱

日 時；平成 22 年 8 月 28 日（土） 11 時 00 分～12 時 00 分
会 場；立教大学新座キャンパス 1 号館 2 階 N121 教室

○ 第 9 回研究大会・大会長挨拶

- 1 理事長挨拶
- 2 議長選出
- 3 議題

(1) 審議事項

- 第 1 号議案 平成 21 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
（資料 1）・・・・・・・・ 頁
- 第 2 号議案 平成 22 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
（資料 2）・・・・・・・・ 頁
- 第 3 号議案 第 4 期役員の改選について
（資料 3）・・・・・・・・ 頁

(2) 報告事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 頁

- ア 平成 21 年度認定ケアマネジャー試験実施結果及び認定資格更新審査
結果について （資料）・・・・・・・・ 頁
- イ 平成 22 年度認定ケアマネジャー試験実施計画及び資格更新実施計画
について （資料）・・・・・・・・ 頁
- ウ 日本ケアマネジメント学会「第 10 回研究大会」について
（資料）・・・・・・・カラーチラシ
- エ 平成 21 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金事業の実施結果
について（資料）・・別冊「介護支援専門員に対するスーパービジョン
のあり方に関する研究」報告書

【参考資料】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 頁

1. 各年度末現在の会員数の推移
2. 会員の状況（平成 22 年 7 月 1 日現在）
3. 認定ケアマネジャー制度規則、認定規則細則、資格更新細則
4. 日本ケアマネジメント学会会則

議題（1）平成 21 年度事業報告（案）及び収支決算（案） について

資料 1 目次

ア 平成 21 年度事業報告（案）・・・・・・・・・・・・・・・・	頁
イ 平成 21 年度認定ケアマネジャーの会事業報告（案）・・・・・・	頁
ウ 平成 21 年度日本ケアマネジメント学会決算書（案）・・・・・・	頁

日本ケアマネジメント学会
平成 21 年度事業報告書（案）

1. 理事会の開催（4 回）

＜第 1 回＞

日時：平成 21 年 5 月 18 日（月） 18：10～20：05

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室 雲取

議事：審議事項

- （1）平成 20 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について（承認）
（平成 20 年度認定ケアマネジャーの会事業報告(案)及び収支決算(案)を含む。）
- （2）平成 21 年度認定ケアマネジャー資格認定要領（案）及び資格更新要領（案）について（承認）
- （3）次期役員選挙の実施について(了承)
- （4）平成 21 年度第 8 回研究大会（平成 21 年 6 月 18 日～20 日横浜市）について（中間報告了承）
- （5）平成 22 年度第 9 回研究大会開催計画(案)について（了承）
- （6）平成 20 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金事業実績報告について（承認）
- （7）その他

第 8 回研究大会(横浜開催)時の第 2 回理事会・評議員会合同開催及び平成 21 年度総会の開催について(了承)

＜第 2 回＞ 第 2 回理事会（評議員会との合同開催）

日時：平成 21 年 6 月 18 日（木） 17：30～18：20

場所：パシフィコ横浜 会議センター E204 号室

議事：1 審議事項

- （1）平成 20 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について（承認）
- （2）平成 21 年度事業計画案及び収支予算案について（承認）
- （3）第 4 期役員選挙について(承認)
- （4）日本ケアマネジメント学会会則の一部改正について（承認）
- （5）理事の退任に伴う後任理事の選任について（了承）

2 報告事項

- （1）平成 20 年度認定ケアマネジャー試験及び資格更新の実施結果について
- （2）平成 21 年度認定ケアマネジャー試験実施計画（案）及び資格更新実施計画（案）について
- （3）平成 20 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金事業の実施結果について

て

補助事業名「スーパーバイザー養成研修のありかたに関する調査研究」

(4) 第9回研究大会について

<第3回>

日時：平成21年11月30日（月） 18：00～19：50

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室 貴船

議事：1 審議事項

(1) ア 平成21年度認定ケアマネジャー試験の実施結果及び平成21年度資格更新実施結果について（承認）

イ 「認定ケアマネジャー資格更新細則」の一部改正について（承認）

(2) 第8回研究大会（横浜開催）の実施結果について（承認）

(3) 第9回研究大会（立教大学新座キャンパス開催）の実施計画案について（承認）

(4) 第10回研究大会（平成23年6月15日～17 東京都京王プラザホテル他）の開催計画概要（案）について（了承）

(5) 次期(第4期)学会理事選挙について（承認）

2 報告事項

(1) 平成20年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金事業実施状況について

補助事業名；「スーパーバイザー養成研修のあり方に関する調査研究」

(2) 認定ケアマネジャーの会の新規事業について

(3) 「第1回財政のあり方検討委員会」と関連事項について

<第4回>

日時：平成22年3月1日（月） 18：15～20：25

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）7階会議室 雲取

議事：1 審議事項

(1) 平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）について（承認）
（「認定ケアマネジャーの会」を含む）

(2) 日本老年学会分担金について（条件付了承）

※理事割り当て数、現行2名を6名に増員する要求を文書で行う。

(3) 第28回日本老年学会会長候補推進委員会の結果について(報告)

(4) 平成22年度認定ケアマネジャー試験実施計画（案）及び更新審査実施計画（案）について（承認）

(5) 平成21年度厚生労働省労働省老人保健事業推進費等補助金事業の進捗状況と平成22年度継続補助金事業の申請について（承認）

(6) 財政のあり方に関する検討委員会報告（中間）について（了承）

- (1) 第9回研究大会（立教大学新座キャンパス開催）の進捗状況について（了承）
- (2) 第10回研究大会開催計画概要について（了承）
- (3) 第1回選挙管理委員会の開催結果について（了承）
- (4) 会則第7条による「会費3年未納者の退会処置」について（了承）
- (5) 広島県認定ケアマネジャーの会・研修報告

第2回理事会と同議題について審議し、報告を行った。

テーマ 「認知症になっても大丈夫なまちづくり」

座長・前沢 政次（北海道大学大学院医学研究科
医療システム系分野教授）

◇ ユニバーサル市民公開講座（シンポジウム）

テーマ 「認知症の人と家族の安定した生活のために」

シンポジスト 井上かつ子（認知症の人と家族の会神奈川県支部）

小坂 憲司（横浜ほうゆう病院）

臼倉 嘉男（ユニバーサルボランティア東京）

大城 敬子（桜寿園地域包括支援センター）

座長 竹内 孝仁（国際医療福祉大学大学院教授）

<2日目の主な内容>

◇ パネルディスカッション

テーマ ケアマネジメントの未来

パネリスト 上原 久（聖隷福祉事業団 地域活動支援センターナルド）

宮下 慧子（母子生活自立支援施設カサ・デ・サンタマリア）

高砂 裕子（南区医師協会居宅介護支援センター）

座長 白澤政和（大阪市立大学大学院生活科学研究
科教授）

◇ 講演 坂本 森男（厚生労働省大臣官房審議官）

テーマ 『「老い」の変化と「介護」』

座長 橋本 正明（立教大学コミュニティ福祉学部
教授）

◇ 閉会式

◎ 発表論文

1 一般口演（口頭発表） 66題

2 ポスター発表 45題

計 111題

◎ 大会参加者 会 員 678名

非会員 207名

学 生 73名

小 計 958名

その他 民生委員、市民等 約600名

計 1,558名

（2）定例総会

議題 1 審議事項

（1）平成20年度事業報告案及び収支決算案について（承認）

（2）平成21年度事業計画案及び収支予算案について（承認）

- (3) 第4期役員選挙について(承認)
- (4) 日本ケアマネジメント学会会則の一部改正について(承認)
- (5) 理事の退任に伴う後任理事の選任について(承認)

2 報告事項

- (1) 平成20年度認定ケアマネジャー試験実施結果及び認定資格更新審査結果について
- (2) 平成21年度認定ケアマネジャー試験実施計画(案)及び同資格更新実施計画案について
- (3) 第9回研究大会について
- (4) 平成20年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金事業の実施結果について

4. 平成21年度(第7回)認定ケアマネジャー試験の実施

受験申込者: 122名(会員69名、非会員53名)

書類審査合格: 119名(会員67名、非会員52名)

試験日: 平成21年11月14日(土)～15日(日)

試験会場: 大正大学

試験結果: 受験者数 119名(会員67名、非会員52名)

合格者数 94名(会員50名、非会員44名)(合格率97.5%)

*平成21年4月1日登録認定証の交付(有効期間H.22.4.1～H.27.3.31)

5. 学会誌「ケアマネジメント学」第8号の発行

発行日: 平成21年10月30日

規格: B5版 94頁 発行部数: 2,800部

主な内容: ・巻頭言:「介護支援専門員と権利擁護」

・特集:「多様なケアマネジメント」

①在宅における高齢者虐待防止のケアマネジメント

②若年認知症の人のためのケアマネジメント

③障害者ケアマネジメントの動向

④高齢者の終末期におけるケアマネジメント

・シンポジウムⅠ 施設ケアマネジメントとケアマネジャーの役割

①人生の継続性を活かした施設における個別支援のため

②老人保険施設における施設ケアマネジメントとケアマネジャーの役割

③「在宅・入所相互利用」の実践から理解したこれからの施設

ケアマネジャーの役割

- ・ シンポジウムⅡ シームレスなケアマネジメントとは？
 - ①シームレスなケアマネジメントにおける地域包括支援センターの役割と課題
 - ②居宅ケアマネジャーの視点から・・・ケアマネジメントの質と事業所力の向上をめざして・・・
 - ③ライフケアマネジメントの可能性と課題
- ・ 原著論文
 - 高齢者話し相手ボランティア養成プログラムの効果の検討
高齢者と対話や交流を行うボランティアにおける養成プログラムの必要性
- ・ 実践・事例報告
 - 要介護高齢者にとって心豊かな生活の要因分析
- ・ 書 評 ケア会議の技術

6. 「ニューズレター」の発行

(第 16 号)

発行日：平成 21 年 10 月 15 日

規 格：A3 版二つ折り 8 頁 発行部数 3, 000 部

主な内容：・ 論壇「ケアマネジメントとサービス担当者会議」の活性化

- ・ 第 8 回研究大会報告（開催地・熊本市）
- ・ 平成 20 年度収支計算書（総括表）・平成 21 年度収支予算書（総括表）
- ・ 平成 21 年度事業計画書
- ・ 第 9 回研究大会開催予定
- ・ 「日本ケアマネジメント学会 in くしろ」ー参加呼び掛けー
- ・ 認定ケアマネジャーの会活動報告
- ・ 認知症と要介護認定
- ・ 会員の声
- ・ 佐賀大会について
- ・ 本の紹介
- ・ 理事会報告
- ・ 機関誌「ケアマネジメント学」投稿呼びかけ

(第 17 号)

発行日：平成 22 年 3 月 31 日

規 格：A3 版二つ折り 8 頁 発行部数 3, 000 部

主な内容：・ 論壇「ケアマネジメントの未来」

- ・第9回研究大会に向けて
- ・初めての理事選挙の実施について
- ・理事会報告
- ・会員の声「終末期のケアマネジメントを支える地域連携」
- ・介護保険の最新動向
- ・学会発表支援セミナー「学会発表支援塾(入門編)」に参加して
- ・第7回認定ケアマネジャー試験合格者一覧
- ・本の紹介
- ・機関誌「ケアマネジメント学」投稿呼びかけ
- ・学会会員募集案内

7. 平成21年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金事業の実施

補助事業名；介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究

補助額；18,750千円

研究委員会；委員長・前沢 政次 北海道大学大学院医学研究科医療システム系分野教授

部会長；野中 猛 日本福祉大学社会福祉学部教授
白澤 政和 大阪市立大学大学院生活科学研究科教授

委員総務；白木 裕子 株式会社フジケア 取締役副社長
吉江 悟 東京大学大学院医学系研究科

委員（アイウエオ順）

- ・飯塚 哲男 （福）桂カリタス21 居宅介護支援事業所
- ・岡田 進一 大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授
- ・奥田亜由子 日本福祉大学 福祉マネジメント専攻
- ・神谷 良子 （特定非営法）神戸ライフ・ケア協会理事長
- ・近藤 明美 財団法人名古屋市高齢者療養サービス事業団
名古屋市中区ケアマネジメントセンター所長
- ・斉藤 眞樹 （医）仁生会 西堀病院 在宅課長
- ・柴山志穂美 社会福祉法人 洛和福祉会東京南麻布施設開設準備室
- ・高砂 裕子 社団法人南区医師協会居宅介護支援センター管理者
- ・林 和美 国際医療福祉大学医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科講師
- ・福富 昌城 花園大学社会福祉学部社会福祉学科教授
- ・山崎 弘子 秋田県介護協会立居宅介護支援事業所 訪問看護

ステーションあきた

・山田 圭子 群馬大学医学部保健学科助教

・吉谷 敬 (医) やわらぎ

(1) 委員会開催状況

ア 全体委員会(4回)

第1回(平成21年09月19日・土 札幌 出席委員等 14名)

第2回(平成21年12月26日・土 東京 出席委員等 17名)

第3回(平成22年02月09日・土 東京 出席委員等 13名)

第4回(平成22年03月15日・月 東京 出席委員等 11名)

イ WGⅠ(ヒアリング調査委員会)(2回)

第1回(平成21年10月29日・木 名古屋 出席委員等 11名)

第2回(平成21年11月19日・木 東京 出席委員等 12名)

ウ WGⅡ(カリキュラム作成委員会)(3回)

第1回(平成21年09月20日・日 札幌市 出席委員等 7名)

第2回(平成21年10月24日・土 大阪市 出席委員等 8名)

第3回(平成21年11月30日・月 東京 出席委員等 8名)

(2) モデル研修会

日 時;平成22年1月22日(金)~24日(日) 9:00~17:00

場 所;株式会社フジケア研修所(北九州市)

協 力;北九州市保険福祉局

対象者;介護支援専門員 定員70名(包括主任介護支援専門員、居宅主任介護支援専門員、居宅非主任介護支援専門員の混成)

配付資料;「スーパービジョンモデル研修・テキスト」

アンケート(事前アンケート、振り返りアンケート、事後アンケート)

※2月下旬に短期フォローアップアンケート、1年後中期フォローアップアンケート実施予定

実施状況;第1日(1月22日・金) 参加62名

◇オリエンテーション(事前アンケート記入)

◇講義 4時間 講師・白澤政和(大阪市立大学大学院教授)

「主任介護支援専門員におけるスーパービジョンの役割~スーパービジョンの基礎知識~」

◇演習1 2時間 講師・福富昌城(花園大学教授)

「あるべきスーパービジョン像について」

第2日(1月23日・土) 参加60名

◇演習2 6時間 講師・福富昌城

「グループスーパービジョンの実践」(実践演習)

第3日(1月24日・日) 参加60名

◇講義 2時間 講師・野中 猛(日本福祉大学教授)

「グループスーパービジョンにおける事例検討の仕方」

◇演習 4時間 講師・野中 猛

「基本演習(モデル演習)」

(3). 調査研究結果の公表等

☆厚生労働省への実績報告提出;平成22年4月19日

☆報告書印刷部数;1,500部予定

☆学会発表;第9回研究大会に於いて発表予定

☆学会誌「日本ケアマネジメント学」論文発表予定

8. 認定ケアマネジャーの会への支援

今年度の活動状況は、次のとおりである。

(1) 総 会

日 時 平成21年6月18日(木) 14:00~14:30

参加者 48名 関係学会理事出席

議 題 1 審議事項

① 役員の改選について(承認)

② 平成20年度事業報告案・収支決算案(承認)

③ 平成21年度事業計画案・収支予算案(承認)

2 報告事項

「認定ケアマネジャーの会」会員入会状況について

(2) スーパーバイザー養成講座

ア 基礎編

平成21年8月1日~2日 受講者51名

(ア)「ケアマネジャーの姿勢と認定ケアマネジャーに期待するもの」

橋本泰子(大正大学名誉教授)

(イ)「ストレングス理論と実際」

白澤政和(大阪私立大学大学院教授)

(ウ)「自立支援を目指したケアマネジメント」

竹内孝仁(国際医療福祉大学大学院教授)

イ 応用編

平成21年11月28日~29日 受講者45名

(ア)「チームマネジメントについて」

服部万里子(立教大学教授)

ウ 実践編

平成 22 年 2 月 20 日～21 日 受講者 44 名

(ア)「事例検討の理論と実際(演習等)」

認定ケアマネジャーの会運営委員

(イ)「事例検討の理論と実際(演習等)」

野中 猛(日本福祉大学教授)

エ フォローアップ研修

平成 21 年 10 月 3 日～4 日 受講者 43 名

(ア)「事例検討の理論と実際(演習等)」

認定ケアマネジャーの会運営委員

(イ)「認知症に関するスーパービジョン」

野中 猛(日本福祉大学教授)

(3) 全体研修会

平成 21 年 6 月 18 日 受講者 113 名

場 所；パシフィコ横浜 会議センター

テーマ；「スーパービジョンの原則について」

講 師；岡田進一(大阪市立大学大学院准教授)

(4) 学会発表支援塾研修会(入門編)

平成 22 年 2 月 13 日～14 日 受講者 70 名

場 所；愛知県青年会館

内 容；学会発表のための事例研究について、事例の選定の視点、事例のまとめ方
など学会発表のいろはを学ぶ。

ア「学会発表のための事例研究について」

講 師 認定ケアマネジャーの会運営委員

イ「学会発表のいろはを学ぶ」

講 師 福富昌城(花園大学准教授)

(5) 運営委員会の開催

運営委員会は、会長外 5 名で構成し、年間の予定実施事業を滞りなく推進するため
次のとおり開催した。

第 1 回 平成 21 年 4 月 4 日

第 2 回 平成 21 年 5 月 23 日

第 3 回 平成 21 年 7 月 25 日

第 4 回 平成 21 年 9 月 19 日

9. 地区別研究大会の開催

今年度は、2ヶ所において学会と共催により実施した。

(1) 日本ケアマネジメント学会 in 佐賀「第 1 回佐賀県介護支援専門員協議会研究大会

(佐賀県介護支援専門員協議会と共催)

大会テーマ「多岐にわたるケアマネジャーの役割とは何か」

開催日時；平成 21 年 7 月 4 日（土） 10：00～17：00

会 場；マリトピア「万葉」 佐賀市

後 援；厚生労働省、佐賀県、日本介護支援専門員協会

参加者数；582 人（県内 513 名、県外 69 名）

内 容；特別講演：「ケアマネジャーの真の役割と課題」（日本ケアマネジメント学会理事長 井形昭弘・名古屋学芸大学学長）

基調講演①：「介護保険法の現状と介護報酬改正について」（厚生労働省
老健局振興課 菊地芳久課長補佐）

基調講演②：「これからの介護支援専門員に求められるもの」（日本ケア
マネジメント学会理事 服部万里子・立教大学教授）

シンポジウム：「多岐にわたるケアマネジャーの役割～それぞれの立場か
らケアマネジャーのこれからを考える～

座長：服部万里子（同上）

白木 裕子（日本ケアマネジメント学会理事・（株）

フジケア副社長）

(2) 日本ケアマネジメント学会 in くしろ「釧路地区介護支援専門員連絡協議会研究大会」

(釧路地区介護支援専門員連絡協議会と共催)

大会テーマ「いま、介護支援専門員に求められている資質とは」

開催日時；平成 21 年 10 月 24 日（土） 10：00～17：00

会 場；釧路生涯学習センター「まなぼつと幣舞」

後 援；北海道、釧路市他

参加者数；220 人

内 容；基調講演：「なぜ今医療との連携が強く求められるか」

(日本ケアマネジメント学会副理事長 前沢政治・北海道大
学大学院教授)

特別講演①：「これからのケアマネジャーに求められる資質とは」（日本
ケアマネジメント学会理事 服部万里子・立教大学教授）

特別講演②：「認知症ケアの現状と今後の課題」（認知症介護研究・研修
センター 本間昭・センター長）

シンポジウム：「道東地域での医療連携・認知症ケアの実践と課題」

コーディネーター 服部万里子（同上）

シンポジスト 釧路市他 3 地区

(1) 「調査研究事業」に対する国庫補助金申請（第3年次）

「平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）」の申請については、厚労省からの国庫補助協議通知が例年より遅れ年度内に申請協議が出来なかったが、第 4 回理事会において平成 22 年度も同補助金事業を行うことについて了承され、新年度第 1 回理事会に協議内容を報告することとなった。

(2) 「財政に関するあり方検討委員会」の開催

会費収入の減収等により学会一般会計収支については、極めて厳しい状況にあることに伴い、平成 19 年度末「財政に関するあり方委員会」を設置し、第 1 回委員会を 3 月 31 日開催した。平成 20 年度は開催なく 21 年度年度において、同委員会を次のとおり開催した。

第 2 回 平成 22 年 1 月 12 日

第 3 回 平成 22 年 2 月 23 日

これまでの検討結果は、第 4 回理事会に報告をし、実施に移せるものから順次実行して行くことで了承された。

(3) 第 4 期理事選挙の準備

平成 22 年度改選になる理事選挙の準備は、第 1 回選挙管理委員会が昨年 12 月 10 日に開催され、今後の予定については、次のように決定した。

なお、選挙の実施については、ニューズレター 17 号（平成 22 年 3 月 31 日発行）に掲載され会員に周知を行った。

22. 4. 上旬 被選挙人名簿（3. 31 現在）作成

22. 5. 14 選挙人へ投票用紙等送付・選挙開始

22. 6. 10 投票期限

22. 6. 12 第 2 回選挙管理委員会開催・開票

理事定数の 2/1＝新理事 10 名当選確定⇒就任諾否伺い

22. 6. 下旬～7 月上旬

選挙選出新理事 10 名による会議開催

理事定数の 2/1＝新理事 10 名を推薦⇒就任諾否伺い

22. 7. 中旬 新理事 20 名内定・理事名簿作成

22. 7. 下旬 新理事会議①理事長の互選②新理事長による副理事長等指名及び新監事 2 名推薦③新役員 22 名の名簿作成

22. 8. 28 平成 22 年度総会にて役員改選審議・出席会員の過半数の賛成により決定⇒新旧役員交代

22. 8. 29 第 4 期役員就任（任期 22. 8. 29～25 年度総会終了日）

平成 21 年度 認定ケアマネジャーの会 事業報告（案）

1. 事業報告の概要

平成 21 年度認定ケアマネジャー資格認定試験に 94 名（内非会員 44）合格し、認定ケアマネジャー総数は 649 名となった。その内、認定ケアマネジャーの会（以下本会という）の会員は 448 名である。（資料 54 ページ参照）

平成 21 年度は、これら会員を対象に、スーパーバイザー養成講座を開催し、第Ⅱ期の全課程修了者は 52 名、続いて第Ⅲ期の全課程修了者は 44 名である。当該養成講座を通じて、質の高いケアマネジメントが実践できるようケアマネジャーの養成に努めた。また、スーパーバイザー養成講座全課程修了者に対するフォローアップ研修を行い、継続的な支援を行なった。

一方、本会においては、学会主催研究大会等へ積極的に参加し、広く認定ケアマネジャーの制度について理解が得られるよう活動を行なった。

この他、学会が申請した「平成 21 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業国庫補助金」事業の「介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究」をテーマとする研究事業に参画し、ケアマネジメントにおけるスーパービジョンのあり方について実践者の立場から同事業の推進に協力した。

2. 事業内容

（1）総会の開催

開催日時：平成 21 年 6 月 18 日（水）

場 所：パシフィコ横浜 会議センター502 号室

参加者数：48 名

議 題：ア. 役員・監事の改選について（承認）

イ. 平成 20 年度事業報告及び収支決算について（承認）

ウ. 平成 21 年事業計画及び収支予算について（承認）

（2）研修事業の実施

ア. 第Ⅲ回スーパーバイザー養成講座の開催

（ア）基礎編

開催日時：平成 21 年 8 月 1 日（土）～2 日（日）

場 所：TKP 銀座ビジネスセンター

参加者数：51 名

内 容：「自立支援のケアマネジメントについて」

講師 竹内 孝仁（国際医療福祉大学大学院教授）

「ケアマネジャーの姿勢と認定ケアマネジャーに期待するもの」

講師 橋本 泰子（大正大学名誉教授）

「ストレングス理論と実際」

講師 白澤 政和（大阪市立大学大学院教授）

（イ）応用編

開催日時：平成 21 年 11 月 28 日（土）～29 日（日）

場 所：東医健保会館（信濃町）

参加者数：45 名

内 容：「チームマネジメントについて」

講師 服部 万里子（立教大学教授）

（ウ）実践編

開催日時：平成 22 年 2 月 20 日（土）～21 日（日）

平成 22 年 3 月 27 日（土）～28 日（日）

場 所：東医健保会館（信濃町）

参加者数：44 名

内 容：「スーパービジョンの現状と課題」

「スーパービジョンの提供方法について」

「グループスーパービジョンの実際を学ぶ」

「スーパーバイザーの役割とバイジーの役割の実際を学ぶ」

「ピアスーパービジョンの実際」

講師 認定ケアマネジャーの会運営委員

「ケース検討会議の理論と実際について」

講師 野中 猛（日本福祉大学教授）

イ. フォローアップ研修の開催

開催日時：平成 21 年 10 月 3 日（土）～4 日（日）

場 所：桐杏学園

参加者数：43 名

内 容：「認知症に関するスーパービジョンができること」

講師 野中 猛（日本福祉大学教授）

ファシリテータ 認定ケアマネジャーの会運営委員

ウ. 全体研修会の開催

開催日時：平成 21 年 6 月 18 日（水）

場 所：パシフィコ横浜 会議センター502 号室

参加者数：113 名

内 容：「スーパービジョンの原則について」

講師 岡田 進一（大阪市立大学大学院准教授）

エ. 「学会発表支援塾」研修会（入門編）

開催日時：平成 22 年 2 月 13（土）～14 日（日）

場 所：愛知県青年会館

参加者数：70 名

内 容：学会発表のための事例研究について事例の選定等の視点など、学会発表のイロハを学ぶ事例のまとめ方の視点・考察の視点など

講師 福富 昌城（花園大学教授）

（3）「平成 21 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業国庫補助金」事業実施への参加協力の概要

- ア. 事業名は、「介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究」事業で、国庫補助額は 18,750 千円が交付された。
- イ. 研究委員会のメンバーは、下表のとおりであり、本会から運営委員 3 名（※印）の外★印の本会会員 5 名の計 8 名が加わった。
- ウ. 開催された会議は、全体会議が 4 回と調査研究体制として組織された WG 1（ヒアリング調査委員会）が 2 回、WG 2（カリキュラム作成委員会）が 4 回開催された。なお、WG は、当学会の理事等学識経験者と最前線で活動する認定ケアマネジャーをメンバーとして具体的、実践的検討を担った。
- エ. 当該研究事業評価に欠くことの出来ないモデル研修会の実施及びヒヤリング調査の実施については、主体的に参画し協力を行った結果、研究委員会において最終的に 70 頁の調査報告書にまとめることが出来、4 月 19 日厚生労働省に提出された。

《委員会名簿》

氏 名	所 属
◎前沢 政次	北海道大学大学院医学研究科
○白木 裕子※	認定ケアマネジャー会長・(株)フジケア
野中 猛 (アドバイザー)	日本福祉大学
飯塚 哲男★	(福) 桂 カリタス 21 居宅介護支援事業所
奥田亜由子※	日本福祉大学大学院
神谷 良子※	(特) 神戸ライフ・ケア協会
近藤 明美★	名古屋市中区ケアマネジメントセンター
斉藤 眞樹★	(医) 仁生会 函館市地域包括支援センター西堀
吉江 悟★	東京大学総括プロジェクトジェロントロジー寄付研究部門
吉谷 敬★	(医) やわらぎ

(順不同・敬称略、委員長◎・部会長○、所属は平成 22 年 3 月 31 日現在)

(4) 日本ケアマネジメント学会「認定ケアマネジャーの会講師バンク（仮称）」設置の準備

本講師バンク（仮称）は、学会及び本会に対して、講師等派遣の依頼があった場合に、スーパーバイザー養成講座修了者を推薦するなどを行うもので、その仕組みづくりについて検討を行った結果次年度から運用することになった。

(5) 日本ケアマネジメント学会主催研究大会への参画及び学会が後援する地域の研究大会の活動支援の内容

本会は、活動の場の拡充を図るため、学会主催研究大会等の企画に積極的に参加し実行に加わり、本会が有する能力の発揮に努めた。本年度は次のような活動を行った。

ア. 第 8 回研究大会の協力

大会の広報、実行委員会への参加、演題査読委員、座長の協力を行なった。

イ. 第 9 回研究大会準備の協力

大会の広報、実行委員会への参加の協力を行った。なお、当研究会への協力は、来年 8 月 28 日・29 日開催まで継続する。

ウ. 「日本ケアマネジメント学会 in さが」（7 月 4 日開催）

大会の広報、講演、座長などの協力を行なった。

エ.「ケアマネジメントフォローアップセミナー」第1弾・第2弾（札幌市9月20日・10月11日）

大会の広報、講演、座長などの協力を行なった。

（7）運営委員会の開催状況

第1回 平成21年4月4日（白木・奥田・神谷・柴山・山崎）

議題：ア. 研修の役割分担について

イ. 20年度事業報告書案・収支決算見込案について

ウ. 21年度事業計画案・収支予算案について

エ.「認定ケアマネジャーの会講師バンク（仮称）」の運用について

第2回 平成21年5月23日（白木、高砂、奥田、神谷、柴山、山崎）

議題：ア. 総会に関する打合せ

イ. その他

第3回 平成21年7月25日（白木、高砂、奥田、神谷、柴山、山崎）

議題：ア. 認定ケアマネジャーの会講師バンク（仮称）」の運用について

イ. 第3回スーパーバイザー養成講座の役割分担等について

ウ. 平成21年度国庫補助金事業「介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究」への参画について

エ. 第3回認定ケアマネジャーの会総会と大会協力の反省について

オ. その他

第4回 平成21年9月19日（白木・高砂・奥田・神谷・柴山）

議題：ア.「認定ケアマネジャーの会講師バンク（仮称）」の運用について

イ. 第3回スーパーバイザー養成講座について

ウ. 平成21年度国庫補助金事業「介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究」への参画について

エ.「学会発表支援塾」の開催について

オ. その他

第5回 平成22年2月20日（白木・高砂・奥田・神谷・柴山・山崎）

- 議題：ア. 平成 22 年度事業計画並びに予算案の作成について
 イ. 平成 21 年度事業報告並びに決算案の作成について
 ウ. 第 2 回目「学会発表支援塾」研修会の開催について
 エ. 第 9 回研究大会における本会総会、全体研修会の開催等について
 オ. 平成 21 年度国庫補助金事業「介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究」への参画について
 カ. その他

(8) その他（本年度における運営委員の学会諸委員会担当状況）

- ア. 日本ケアマネジメント学会広報委員会（委員：柴山）
 イ. 第 8 回研究大会実行委員会（委員：柴山、羽石）
 ウ. 第 9 回研究大会実行委員会（委員：柴山）
 エ. 資格認定委員会（委員：奥田、高砂）
 オ. 選挙管理委員会（委員：柴山、高砂）

《運営委員名簿》

役 職	氏 名	所 属
会 長	白木 裕子	(株) フジケア
副会長	高砂 裕子	(社) 南区医師協会居宅介護支援センター
理 事	奥田亜由子	日本福祉大学 非常勤講師
理 事	神谷 良子	(特) 神戸ライフ・ケア協会
理 事	柴山志穂美	社会福祉法人 洛和福祉会
理 事	山崎 弘子	ライフクリエイティブオフィス(株) 孫子老ケアプランセンター
事業監査	安井 由枝	尾道市医師会 介護保険 サービスセンター やすらぎ
会計監査	羽石 芳恵	東京都介護福祉会 コア

平成21年度 日本ケアマネジメント学会 決算書(案)

- 1 収支計算書 総括表
- 2 一般会計 収支計算書
- 3 認定ケアマネジャーの会 収支計算書
- 4 貸借対照表 総括表
- 5 一般会計 貸借対照表
- 6 認定ケアマネジャーの会 貸借対照表
- 7 財産目録(全体)

1. 平成21年度 収支計算書 総括表
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	一般会計	認定ケアマネの会	内部収支消去	合 計
資金収入	45,353,339	5,989,500	△ 448,000	50,894,839
資金支出				
事業費	30,568,890	5,018,166	△ 100,000	35,487,056
事務費	14,735,754	398,000	△ 348,000	14,785,754
予備費	0	0	0	0
資金支出 計	45,304,644	5,416,166	△ 448,000	50,272,810
当期収支差額	48,695	573,334	0	622,029
正味財産増減額				
当期収支差額	48,695	573,334	0	622,029
運営積立預金取崩額	800,000	0	0	800,000
当期正味財産増減額	△ 751,305	573,334	0	△ 177,971
前期繰越正味財産額	27,641,478	531,671	0	28,173,149
期末正味財産合計額	26,890,173	1,105,005	0	27,995,178

2. 平成21年度 一般会計 収支計算書 (案)

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	21年度予算額	21年度決算額	増△減額	摘 要
〔資金収支の部〕				
資金収入の部				会員数の増減 2,456人→2,303人(-153人) (入会 290 退会 443)
1 会費収入	18,216,000	18,936,000	△ 720,000	内訳:正会員 2,213、学生 85、賛助 5 未納退会者未収会費償却額 834千円 (20' 10人 80千円、19' 95人 754千円)
2 認定試験審査料収入	4,855,000	5,888,200	△ 1,033,200	受験者数 121人(会員 42、非会員 79) 合格者数 94人(会員 29、非会員 65) 認定ケアマネジャーバッジ販売
3 認定資格更新等収入	351,000	295,000	56,000	
4 平成21年度厚生労働省老人保健 健康増進等事業国庫補助金	25,000,000	18,750,000	6,250,000	課題 「スーパーハイイサー養成講座のあり方に 関する調査研究」
5 事務委託費収入等	348,000	348,000	0	「認定ケアマネジャーの会」事務の受託
6 特定預金取崩収入	5,080,000	800,000	4,280,000	運営積立預金の取崩額
7 雑収入	10,000	336,139	△ 326,139	抄録集、学会誌頒布料、預金利息
資金収入 合計	53,860,000	45,353,339	8,506,661	
資金支出の部				
1 事業費	38,494,000	30,568,890	7,925,110	
1) 理事会等運営費	270,000	429,317	△ 159,317	理事会等開催費
2) 旅費交通費	825,000	846,010	△ 21,010	会議等出席旅費
3) 研究大会助成費等	2,000,000	1,857,237	142,763	第8回大会助成費 1,000千円 老年学会分担金 402千円、印刷等事務費 355千円 認定ケアマネジャー会支援費 100千円
4) 認定ケアマネジャー試験費	4,155,000	4,309,049	△ 154,049	会議費 200千円、委員謝金 861千円 委員旅費 3,083千円、その他事務費 165千円
5) 認定資格更新等費	250,000	63,240	186,760	
6) 学会誌発行費	2,328,000	1,735,465	592,535	No.8 94頁 2,650部 印刷費ほか
7) シンポジウム等開催費	600,000	600,000	0	佐賀、銅路
8) 研究事業推進費	25,100,000	18,750,000	6,350,000	平成21年度国庫補助事業 18,750千円
9) 諸謝金	200,000	247,222	△ 47,222	
10) 講師等派遣旅費	100,000	100,000	0	
11) 機関紙ニュースレター発行費	966,000	992,370	△ 26,370	A4版 8頁 3,000部 年2回 印刷費ほか
12) 広報費	100,000	0	100,000	
13) ホームページ作成費	200,000	169,980	30,020	更新、管理料
14) 通信運搬費	300,000	469,000	△ 169,000	郵送料等
15) 会員名簿作成費	1,100,000	0	1,100,000	
2 事務費	12,866,000	14,735,754	△ 1,869,754	
1) 人件費	9,340,000	10,007,251	△ 667,251	職員給料、社会保険料等
2) 事務所費	2,500,000	2,729,305	△ 229,305	事務所賃料、複合機リース料等
3) 会議費	80,000	60,888	19,112	
4) 旅費交通費	46,000	480	45,520	事務連絡交通費
5) 備品購入費	30,000	0	30,000	
6) 消耗品費	200,000	280,939	△ 80,939	事務用消耗品費
7) 印刷製本費	10,000	0	10,000	
8) 通信運搬費	430,000	396,595	33,405	郵送料ほか
9) 光熱水料費	110,000	96,229	13,771	
10) 支払手数料	120,000	309,067	△ 189,067	
11) 雑 費	0	21,000	△ 21,000	
12) 未収会費償却額	0	834,000	△ 834,000	未納退会者未収会費
3 予備費	2,500,000	0	2,500,000	
資金支出 合計	53,860,000	45,304,644	8,555,356	
当期収支差額	0	48,695	△ 48,695	
〔正味財産増減の部〕				
正味財産増加の部				
資産増加額				
当期収支差額	0	48,695	△ 48,695	
増加額 合計	0	48,695	△ 48,695	
正味財産減少の部				
資産減少・当期収支差額	0	0	0	
備品減価償却額	0	0	0	
運営積立預金取崩額	5,080,000	800,000	4,280,000	
減少額 合計	5,080,000	800,000	4,280,000	
当期正味財産増減額	△ 5,080,000	△ 751,305	△ 4,328,695	
前期繰越正味財産額	28,401,910	27,641,478	760,432	
期末正味財産合計額	23,321,910	26,890,173	△ 3,568,263	

3.平成21年度「認定ケアマネジャーの会」収支計算書（案）

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	21年度予算額	21年度決算額	増△減額	摘 要
〔資金収支の部〕				
資金収入の部				
会費収入	800,000	812,000	△ 12,000	会員 448人
研修収入	5,090,000	5,077,500	12,500	スーパーバイザー養成講座(基礎・応用・実践)実施 学会発表支援塾
一般会計繰入金	100,000	100,000	0	
資金収入 合計	5,990,000	5,989,500	500	
資金支出の部				
1 事業費				
1) スーパーバイザー養成講座費	3,425,000	4,012,060	△ 587,060	
2) フォローアップ研修会費	1,200,000	365,406	834,594	
3) 全体研修会費	150,000	202,317	△ 52,317	
4) 総会開催費	217,000	217,350	△ 350	6/18 パシフィコ横浜開催
5) 運営委員会開催費	450,000	221,033	228,967	
6) アンケート実施費	50,000	0	50,000	
2 事務費				
事務費	150,000	50,000	100,000	
3 事務委託費				
事務委託費	348,000	348,000	0	人件費、光熱費、通信費、事務所費等 月29,000円×12月＝348千円
資金支出 合計	5,990,000	5,416,166	573,834	
当期収支差額	0	573,334	△ 573,334	
〔正味財産増減の部〕				
正味財産増加の部				
資産増加額				
当期収支差額	0	573,334	△ 573,334	
増加額 合計	0	573,334	△ 573,334	
当期正味財産増加額	0	573,334	△ 573,334	
前期繰越正味財産額	437,683	531,671	△ 93,988	
期末正味財産合計額	437,683	1,105,005	△ 667,322	

3.平成21年度「認定ケアマネジャーの会」収支計算書（案）

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：円）

(単位:円)

科	H	21年度予算額	21年度決算額	増△減額	摘 要
〔資金収支の部〕					
資金収入の部					
会費収入		800,000	812,000	△ 12,000	会員 448人
研修収入		5,090,000	5,077,500	12,500	スーパーバイザー養成講座(基礎・応用・実践)実施 学会発表支援塾
一般会計繰入金		100,000	100,000	0	
資金収入 合計		5,990,000	5,989,500	500	
資金支出の部					
1 事業費					
1) スーパーバイザー養成講座費		3,425,000	4,012,060	△ 587,060	6/18 パシフィコ横浜開催
2) フォローアップ研修会費		1,200,000	365,406	834,594	
3) 全体研修会費		150,000	202,317	△ 52,317	
4) 総会開催費		217,000	217,350	△ 350	
5) 運営委員会開催費		450,000	221,033	228,967	
6) アンケート実施費		50,000	0	50,000	
2 事務費					
事務費		150,000	50,000	100,000	
3 事務委託費					
事務委託費		348,000	348,000	0	人件費、光熱費、通信費、事務所費等 月29,000円×12月＝348千円
資金支出 合計		5,990,000	5,416,166	573,834	
当期収支差額		0	573,334	△ 573,334	
〔正味財産増減の部〕					
正味財産増加の部					
資産増加額					
当期収支差額		0	573,334	△ 573,334	
増加額 合計		0	573,334	△ 573,334	
当期正味財産増加額		0	573,334	△ 573,334	
前期繰越正味財産額		437,683	531,671	△ 93,988	
期末正味財産合計額		437,683	1,105,005	△ 667,322	

4. 平成21年度 貸借対照表 総括表
(平成22年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	一般会計	認定ケアマネの会	内部貸借消去	合 計
流動資産	8, 215, 132	1, 448, 019	△ 616, 000	9, 047, 151
固定資産	22, 060, 002	0	0	22, 060, 002
資 産 計	30, 275, 134	1, 448, 019	△ 616, 000	31, 107, 153
流動負債	3, 384, 961	343, 014	△ 616, 000	3, 111, 975
負 債 計	3, 384, 961	343, 014	△ 616, 000	3, 111, 975
正味財産 計	26, 890, 173	1, 105, 005	0	27, 995, 178
負債・正味財産 計	30, 275, 134	1, 448, 019	△ 616, 000	31, 107, 153

5. 平成21年度 一般会計 貸借対照表
(平成22年3月31日現在)

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	40,234		
普通預金	4,292,898		
未収会費	2,882,000		
仮払金	1,000,000		
流動資産 合計		8,215,132	
2 固定資産			
備品	2		
敷金	660,000		
運営積立預金	21,400,000		
固定資産 合計		22,060,002	
資 産 合計			30,275,134
II 負債の部			
1 流動負債			
前受会費	24,000		
預り金	624,000		
未払金	2,736,961		
		3,384,961	
負 債 合計			3,384,961
III 正味財産の部			
正味財産			26,890,173
(うち当期正味財産減少額)			(△751,305)
負債及び正味財産 合計			30,275,134

6. 平成21年度「認定ケアマネジャーの会」貸借対照表
(平成22年3月31日現在)

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現金	167,311		
普通預金	664,708		
未収入金	616,000		
流動資産 計		1,448,019	
資 産 合 計			1,448,019
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	337,200		
未払金	1,814		
前受会費	4,000		
		343,014	
負 債 合 計			343,014
III 正味財産の部			
正味財産			1,105,005
(うち当期正味財産増加額)			(573,334)
負債及び正味財産 合計			1,448,019

7. 平成21年度 財産目録

(平成22年3月31日現在)

(単位 : 円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	手許残高	207,545	
普通預金	みずほ銀行四谷支店	3,873,938	
普通預金	三菱東京 UFJ銀行麹町支店	418,960	
普通預金	ゆうちょ銀行認定ケアマネジャー口	664,708	
未収会費	21年度分 170名	1,437,000	
未収会費	20年度以前	1,445,000	
仮払金	第9回研究大会	1,000,000	
流動資産 合計			9,047,151
2 固定資産			
備品	パソコン2台	2	
敷金	事務所敷金	660,000	
運営積立預金			
	みずほ銀行四谷支店	1,209,499	
	三井住友銀行麹町支店	10,070,671	
	三井住友銀行麹町支店	796	
	三菱東京UFJ銀行麹町中央支店	2,847,236	
	ゆうちょ銀行普通預金	137,248	
	ゆうちょ銀行学会会費口	684,350	
	ゆうちょ銀行認定審査口	6,450,200	
固定資産 合計			22,060,002
資 産 合計			31,107,153
II 負債の部			
1 流動負債			
前受会費	22年度年会費 学会 3名	24,000	
前受会費	22年度年会費 認定ケアマネ会 2名	4,000	
預り金		8,000	
受講料預り金		337,200	
未払金			
	22年3月分 社会保険料	115,639	
	22年3月分 事務局員給与	339,897	
	22年3月分 学会誌作成費	1,735,465	
	22年3月分 機関紙ニュースレター発行費	496,860	
	22年3月分 コピー機リース料	22,850	
	22年3月分 パソコン保守料	26,250	
	22年3月分 消耗品購入	1,814	
流動負債 合計			3,111,975
負 債 合計			3,111,975
III 正味財産の部			
正味財産			27,995,178

監査報告書

日本ケアマネジメント学会

理事長 井 形 昭 弘 殿

私達は、会則第14条に基づき本会の平成21年度における会計及び会務遂行の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査概要

- (1) 会計帳簿及び証拠書類の閲覧など必要な手続きを実施しました。
- (2) 各種事業の実施状況を重点に、関係資料の閲覧など会務遂行の状況を調査しました。

2. 監査意見

- (1) 決算報告書（収支計算書、貸借対照表及び財産目録）は、会計帳簿の記載金額と一致し、本会の収支及び財産の状況を適正に示していると認めます。
- (2) 本会の会務は、法令並びに会則及び諸規程に従い、適正に遂行されていると認めます。

平成22年4月26日

監 事

村尾俊明 

監 事

多田 哲夫 

議題（２）平成 22 年度事業計画（案）及び収支予算（案） について

資料 2 目次

ア 平成 22 年度事業計画（案）・・・・・・・・・・・・・・・・	頁
イ 平成 22 年度認定ケアマネジャーの会事業計画（案）・・・・・・	頁
ウ 平成 22 年度日本ケアマネジメント学会収支予算書（案）・・・・	頁

日本ケアマネジメント学会

平成 22 年度事業計画書（案）

学会設立 10 年目の節目を迎え、質の高いケアマネジメントの実現を目指して引き続き次の事業を重点に推進する。又、学会への入会者促進に努め、活動組織の一層の充実を図る。

1 日本ケアマネジメント学会「第 9 回研究大会」の開催

日本ケアマネジメント学会「第 9 回研究大会」を次により開催し、会員の研究発表、意見交換、情報提供を行う。また併せて理事会、評議員会、学会総会及び「認定ケアマネジャーの会総会」を開催する。

- (1) 開催日；平成 22 年 8 月 28 日（土）・29 日（日）
- (2) 会 場；立教大学新座キャンパス
- (3) 大会長；橋本正明氏（立教大学コミュニティ福祉学部教授）
- (4) 大会事務局；日本ケアマネジメント学会事務局

2 学会誌「ケアマネジメント学」の発行

会員等の研究論文を収録した学会誌「ケアマネジメント学」第 9 号を発行し、会員に配布する。

◇ 企画；B 5 版 90～110 頁 発行部数 2, 350 部

3 学会機関誌「ニューズレター」の発行

「ニューズレター」を年 2 回（第 18 号、第 19 号）発行し会員に配布する他、学会の P R 用として活用し会員増員に役立てる。

◇ 企画；A 3 版二つ折り 8 頁 発行部数 各号 3, 000 部

4 認定ケアマネジャー制度の円滑な運営

(1) 資格試験の実施

ケアマネジャーの質的向上を目的とする当学会の「認定ケアマネジャー制度」に基づく第 8 回資格試験を 11 月 13 日（土）、14 日（日）東京に於いて実施する。

- ① 受験申請期間；6 月 15 日～7 月 31 日
- ② 合格者に対する認定証の交付；12 月
- ③ 資格試験運用のための資格認定委員会を 3 回（8 月、9 月、11 月）試験委員会を 2 回（9 月、11 月）開催

(2) 資格更新の実施

「認定ケアマネジャー制度規則」第 11 条に基づき資格有効期間 5 年を迎える者を対象に、申

請に基づき審査を行い資格の更新を行う。

- ① 更新対象者；平成 17 年度認定資格取得者（141 名予定）
- ② 更新申請受付期間；8 月 1 日～9 月 30 日
- ③ 更新審査；11 月 13 日、14 日
- ④ 更新者への認定証交付；12 月

(3) 「認定ケアマネジャーの会」事業活動の支援

「認定ケアマネジャーの会」の事業活動について支援を行い、認定ケアマネジャーの活動の充実を図る。併せてケアマネジャーの社会的地位向上に寄与する。

主要事業

- ① 認定ケアマネジャーを対象に「スーパーバイザー養成講座」（基礎編・応用編各 10 時間、実践編 2 回 20 時間）及びフォローアップ研修（10 時間）の開催
- ② 全会員を対象に「学会発表支援塾」（8 時間）を 2 回開催
- ③ 本事業計画の項目 7 の研究事業「スーパーバイザー養成講座のあり方に関する研究」を前年度に引き続き同会が主体となり実施
- ④ その他政策提言に関するアンケートの実施等

5 地区別シンポジウムの開催

当学会の事業について多くの人の理解を得ること及び関係者の交流促進と啓発活動に資するため地域に於いてケアマネジメントに関する講演会、シンポジウム等を開催する。今年度は、昨年同様 2 ヶ所程度を予定する。

6 地域の研修会等への助言、指導

都道府県、市群単位等で開催される研修会、研究会及び事例発表会等に対して講師の斡旋、助言その他の支援を行う。

7 研究事業の推進

第一線における実践を踏まえつつ、ケアマネジメントに関する学際的研究を推進し、質の高いケアマネジメントの実現を目指す。

(1) 介護支援専門員に対するスーパーバイザー養成研修のあり方に関する研究」の実施

前年度に引き続き本研究を実施する。この研究は、厚生労働省老人保健健康増進等事業補助金の交付を受けて実施することを予定していたが、当該事業の実施要綱が改正され、平成 22 年度から事業の実施主体が法人に限定された。このことにより、法人格のない当学会は申請資格を失ったため、補助申請ができる法人格のある団体と共同研究することによって本事業を継続する。

(2) 研究・実践活動促進委員会の設置

会員の自主的な研究・実践活動を支援促進するための具体的方法を検討するため、「研究・実践活動促進委員会」を設置する。

8 法人格取得への取り組み

学会の活動を公共性の高いものとし、学術研究・実践の水準を高めて社会的認知度の向上を図る。更に関係分野や関係領域との研究・実践活動における協働を促進して、ケアマネジメントの展開を図る。こうした学会の活動を行うには、法人格を持たない運営には限界があるところから、一般社団法人の承認を取得するための準備を進める。

9 定例理事会、評議員会の開催

学会の重要事項を調査審議するため、理事会を年4回（5月、8月、11月、3月予定）開催し、年1回の評議員会については、今年度は8月28日（土）立教大学新座キャンパスで開催する第9回研究大会の初日に開催する。

なお、緊急に理事会開催の必要が生じたときは、臨時開催又は持ち回り理事会により対応する。

10 役員の改選

学会は、第4期役員改選に当たって、理事については学会設立後初めて選挙による方法を導入する。

（1）理事の選出方法

理事の半数を選挙で選び、残りの半数については選挙で選出された理事が推薦する。理事長が推薦した監事2名と共に総会の承認を得て決定する。理事長は、理事の互選により選任する。

なお、選挙の方法は、今回に限り、評議員が会員を代表する選挙人となり被選挙人名簿の中から5名連記の投票により実施する。

（2）第4期理事選出までの日程等

- ① 被選挙人名簿は、平成22年3月31日現在とする。
- ② 投票開始は、平成22年5月14日選挙人に対し発送する「選挙の実施について」通知からとし、投票日は、6月10日（必着）とする。同通知には、投票用紙、被選挙人名簿等必要書類を同封する。
- ③ 開票は、6月12日とする。
- ④ 半数の推薦理事は、7月上旬選挙による選出理事の会議において選ぶ。
- ⑤ 新役員は、役員会を開催し理事長を互選し、理事長は監事を推薦、副理事長及び総務担当理事を指名の上、第4期役員名簿を作成する。
- ⑥ 8月28日総会を開催し、第4期役員（案）を出席正会員の過半数の承認を得て決定する。

平成 22 年度 認定ケアマネジャーの会事業計画（案）

1. 本年度の活動方針

平成 21 年度までの認定ケアマネジャー資格取得者総数は、649 名であって、認定ケアマネジャーの会（以下本会という）の会員数は 448 名となっている。

平成 22 年度は、これら会員を対象にスーパーバイザー養成講座の内容を見直し、より実践的な講座として充実化を図る。更に、基礎編、応用編及び実践編の全講座を終了した者に対するフォローアップ研修を開講し、より質の高いケアマネジャーリーダーの養成を目指す。

一方、学会主催研究大会の参画及び実施プログラムへの協力を行うとともに、学会が後援を行う研究会等への支援を通じて、広く認定ケアマネジャーの理解を得られるよう積極的に活動を行う。

2. 事業内容

（1）「認定ケアマネジャーの会」総会の開催

本会の総会は、本年 8 月 28 日 第 9 回研究大会会場において開催する。

（2）研修事業

ア. スーパーバイザー養成講座継続実施

イ. スーパーバイザー養成講座全終了者に対する「フォローアップ研修」
の継続実施

ウ. 全体研修会の実施

学会主催第 9 回研究大会第 1 日目、本会総会に引き続き認定ケアマネジャー全員を対象として行う。

エ. 「学会発表支援塾」研修会

学会学術集会等において、事例研究発表ができるよう、その要領を学ぶことを目的に、次の通り開催する。

入門編：（第 1 回入門編 22 年 2 月 13・14 日開催済み）

（ア）開講予定；第 2 回平成 22 年 12 月

（イ）研修内容；学会発表のための事例研究について事例の選定等の視点など、学会発表のイロハについて

実践編：（ア）開講予定；第 1 回 平成 22 年 4 月 17・18 日

第 2 回 平成 23 年 2 月 19・20 日

(イ) 研修内容；学会発表のエントリーの仕方、抄録作成、学会発表
原稿の作成の実際について

オ. 認定ケアマネジャーによる事例検討研修会

日本ケアマネジメント学会の周知と認定ケアマネジャー資格の周知として、非会員への働きかけを行うための活動の一環でもある。また、認定ケアマネジャーの方々への研修の参画と参加の場とする。

(3) 「平成 22 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業国庫補助金」事業への参加協力
21 年度に引き続き「スーパービジョンのあり方に関する研究」事業の推進に協力する。

(4) 認定ケアマネジャー資格試験受験者の募集活動等

前年度に引き続き、認定ケアマネジャー受験に関するチラシ(別紙)を配布して募集を行うと共に、併せて合格した非会員に対し学会入会への PR に努める。

(5) 日本ケアマネジメント学会研究大会への協力

認定ケアマネジャーの会として、研究大会実行委員会等へ参画し、大会運営に協力する。

ア. 第 9 回研究大会(平成 22 年 8 月 28 日～29 日)実行委員会への参画及実施協力

イ. 第 10 回研究大会(平成 23 年 6 月 16 日～17 日)実行委員会への参画協力

ウ. 各地域開催研究大会・シンポジウムに対する協力

(6) アンケートの実施

認定ケアマネジャーとしてケアマネジメントを実践する観点から、その課題等に関するアンケートを実施し、平成 23 年介護保険法等の改定に対し要望の取りまとめを行う。

(7) 日本ケアマネジメント学会「認定ケアマネジャーの会人財バンク」の設置

学会及び認定ケアマネジャーの会に対して、講師等派遣の依頼があった場合に、その要請に応えることとする。

(8) その他の活動

本会の運営委員は、次の委員会等の委員に選任されたことを受けて、学会運営に協力する。

ア. 日本ケアマネジメント学会理事(白木)

イ. 日本ケアマネジメント学会評議員(高砂、奥田、神谷、柴山、山崎)

ウ. 日本ケアマネジメント学会広報委員(柴山)

エ. 認定ケアマネジャー試験委員(白木、柴山、山崎、羽石)

オ. 第9回日本ケアマネジメント学会研究大会実行委員会委員（柴山）

カ. 第10回日本ケアマネジメント学会研究大会実行委員会委員（柴山、羽石）

キ. 資格認定委員会委員（奥田、高砂）

ク. 選挙管理委員会委員（柴山、高砂）

（9）運営委員会の開催

概ね5回開催する

平成 22 年度日本ケアマネジメント学会収支予算書(案)

1 収支予算書 総括表

2 学会一般会計 収支予算書

3 認定ケアマネジャーの会 収支予算書

平成22年度 日本ケアマネジメント学会 収支予算書(案) 総括表

(単位：円)				
科 目	一般会計	認定ケアマネの会	内部収支消去	合 計
資金収入	26,693,000	5,708,000	△ 448,000	31,953,000
資金支出				
事業費	13,247,000	5,210,000	△ 100,000	18,357,000
事務費	13,210,000	498,000	△ 348,000	13,360,000
予備費	0	0	0	0
資金支出 計	26,457,000	5,708,000	△ 448,000	31,717,000
当期収支差額	236,000	0	0	236,000
正味財産増加額				
当期収支差額	236,000	0	0	236,000
正味財産減少額				
運営積立預金取崩額	0	0	0	0
当期正味財産増減額	236,000	0	0	236,000
前期繰越正味財産額	27,641,478	531,671	0	28,173,149
期末正味財産合計額	27,877,478	531,671	0	28,409,149

平成22年度 一般会計収支予算書(案)

(単位:円)

	22年度予算額	前年度予算額	増△減額	摘 要
〔資金収支の部〕				
資金収入の部				
1 会費収入	18,940,000	18,216,000	724,000	22年度会費納入見込会員数 2,340人 (内訳) 正会員 2,255人 学生会員 80人 賛助会員 5人
2 認定試験審査料収入	6,260,000	4,855,000	1,405,000	受験者140人(会員80人、非会員60人)
3 認定資格更新等収入	635,000	351,000	284,000	資格更新対象認定ケアマネジャー 141人
4 平成22年度厚生労働省老人保健健康増進等事業国庫補助金収	0	25,000,000	△ 25,000,000	
5 事務委託費収入	848,000	348,000	500,000	1.認定ケアマネジャーの会事務委託収入 348千円 2.国庫補助事業事務受託収入 500千円
6 雑収入	10,000	10,000	0	
7 運営積立預金取崩収入	0	5,080,000	△ 5,080,000	
資金収入 合計	26,693,000	53,860,000	△ 27,167,000	
資金支出の部				
1 事業費	13,247,000	38,494,000	△ 25,247,000	
1) 理事会等運営費	450,000	270,000	180,000	
2) 旅費交通費	825,000	825,000	0	
3) 研究大会助成費等	1,800,000	2,000,000	△ 200,000	第9回研究大会開助成 1,000千円 日本老年学会分担金等 700千円 認定ケアマネジャーの会支援費 100千円
4) 認定ケアマネジャー試験費	4,441,000	4,155,000	286,000	試験会場費、委員謝金、旅費、その他事務費等
5) 認定資格更新等費	50,000	250,000	△ 200,000	審査会場費等、登録認定証交付費
6) 学会誌発行費	2,115,000	2,328,000	△ 213,000	発行部数 2,350部
7) シンポジウム等開催費	600,000	600,000	0	開催地2ヶ所予定
8) 研究事業推進費	100,000	25,100,000	△ 25,000,000	ケアマネジメントに関する学術的研究事業の推進費
9) 諸謝金	200,000	200,000	0	
10) 講師等派遣旅費	100,000	100,000	0	
11) 機関紙ニューズレター発行費	966,000	966,000	0	3,000部 年2回発行
12) 広報費	100,000	100,000	0	学会案内等作成費
13) ホームページ作成費	200,000	200,000	0	WEBホスティング使用料及びドメイン管理料
14) 通信運搬費	300,000	300,000	0	郵送料等
15) 理事選挙費	1,000,000	0	1,000,000	平成22年度役員選挙用経費(1年限り経費)
16) 会員名簿作成費	0	1,100,000	△ 1,100,000	
2 事務費	13,210,000	12,866,000	344,000	
1) 人件費	9,840,000	9,340,000	500,000	1.職員給料、社会保険料等 2.国庫補助事業受託人件費
2) 事務所費	2,384,000	2,500,000	△ 116,000	事務所借料、複合機リース料、PC保守料等
3) 会議費	40,000	80,000	△ 40,000	
4) 旅費交通費	46,000	46,000	0	事務連絡等旅費、交通費
5) 備品購入費	30,000	30,000	0	
6) 消耗品費	200,000	200,000	0	事務用消耗品費
7) 印刷製本費	10,000	10,000	0	事務用資料印刷等
8) 通信運搬費	430,000	430,000	0	
9) 光熱水料費	110,000	110,000	0	
10) 支払手数料	120,000	120,000	0	

	22年度予算額	前年度予算額	増△減額	摘 要
3 予備費	0	2,500,000	△ 2,500,000	
資金支出 合計	26,457,000	53,860,000	△ 27,403,000	
当期収支差額	236,000	0	236,000	
〔正味財産増減の部〕				
正味財産増加の部				
資産増加額				
当期収支差額	236,000	0	236,000	
増加額 合計	236,000	0	236,000	
正味財産減少の部				
資産減少額				
備品減価償却額	0	0	0	
運営積立預金取崩額	0	5,080,000	△ 5,080,000	
減少額 合計	0	5,080,000	△ 5,080,000	
当期正味財産増減額	236,000	△ 5,080,000	5,316,000	
前期繰越正味財産額	27,641,478	28,401,910	△ 760,432	
期末正味財産合計額	27,877,478	23,321,910	4,555,568	

平成22年度「認定ケアマネジャーの会」収支予算書(案)

(単位:円)

	22年度予算額	前年度予算額	増△減額	摘 要
〔資金収入の部〕				
1.会費収入	898,000	800,000	98,000	22年度会費納入見込会員数 449人(会費2千円)
2.研修会収入	4,710,000	5,090,000	△ 380,000	1.スーパーバイザー養成講座 ア.基礎編・応用編 各50人 @14千円×2講座=1,400千円 イ.実践編 2回実施 各40人 @25千円(2回分)=1,000千円 2.フォローアップ研修 40人 @12千円=480千円 3.全体研修会 150人(第9回研究大会開催時) 会 員@500×100人=50千円 非会員@2千円×50人=100千円 4.学会発表支援塾 入門編・実践編 70人 @12千円×2講座=1,680千円
3.学会会計繰越金収入	100,000	100,000	0	
資金収入 合計	5,708,000	5,990,000	△ 282,000	
〔資金支出の部〕				
1 事業費	5,210,000	5,492,000	△ 282,000	
1) スーパーバイザー養成講座費	1,704,000	3,425,000	△ 1,721,000	基礎編(1回)・応用編(1回)・実践編(2回)
2) フォローアップ研修費	467,000	1,200,000	△ 733,000	スーパーバイザー養成講座修了者
3) 全体研修会費	167,000	150,000	17,000	第9回研究大会開催時実施
4) 学会発表支援塾研修費	2,362,000	0	2,362,000	入門編・実践編
5) 総会開催費	10,000	217,000	△ 207,000	第9回研究大会開催時実施
6) 運営委員会開催費	450,000	450,000	0	5回開催予定
7) アンケート実施費	50,000	50,000	0	アンケート作成費・郵送料等
2 事務費	150,000	150,000	0	
3 事務委託費	348,000	348,000	0	消耗品等 人件費・光熱費・通信費・事務所費等
資金支出 合計	5,708,000	5,990,000	△ 282,000	

第3号議案「第4期役員の改選について」

(1) 選挙制度について

1. 選挙制度導入については、平成17年度第5回理事会及び平成18年度第1回理事会の議論を踏まえ、平成20年6月21日 第7回研究大会（札幌）における総会において、次期（第4期）役員改選から、理事選出は選挙によることが確認された。
2. 平成20年11月20日、白澤、竹内両担当理事による「理事及び監事選出規則（案）」に関し、特に主要論点として次の2点を中心に役員各位に書面で意見聴取を行った。
(1) 直接選挙か間接選挙か (2) 理事全員選出か一部（半数）選出か
3. 意見聴取の結果は、(1) については間接選挙が選択され、(2) については一部（半数）が多数意見となった。この結果に基づき、平成21年3月5日平成20年度第4回理事会において「理事及び監事選出規則（案）」が成案として承認され、次回総会開催予定日から逆算して実施計画をたて平成21年5月18日平成21年度第1回理事会に提案することとなった。
4. 上記第1回理事会において、間接選挙人について議論が行われた結果、代議員を置く場合の組織作り、費用面及び時間的なこと等を総合的に判断し、評議員を選挙人とすることで次回総会に諮ることとなった。
5. 平成21年6月19日第8回研究大会（横浜）総会に「理事及び監事選出規則（案）」、「第4期理事選出選挙投票要領（案）」、実施日程及び選挙に関連する「会則の一部改正」等が資料として提出され、担当の竹内理事から制度の仕組みに関し、次のとおり3つの論点について説明があり承認された。

論点1； 理事の半数を選挙で選出、残りの半数は選挙で選ばれた理事が推薦する仕組みとする。

論点2； 選挙人については、通常は会員全員が投票する直接選挙方式であるが、間接選挙では予め選挙人を会員選挙により選出する方式となる。しかし、これは直接選挙とあまり変わらず間接選挙選択の意味がないため、評議員を選挙人とする間接選挙が検討された。

論点3； 評議員が選挙人となることについては、他学会にも例があり、たまたま、現行の評議員が通常用いられる全国8ブロックで見ると、ほぼ地区別会員数に比例して配置されている実態から、理事会では、将来的には直接選挙を検討するとの附帯条件つきで、今回に限り評議員を選挙人とするのが望ましいということになった。

以上

第3号議案「第4期役員の改選について」

(2) 選挙の結果について (報告)

日本ケアマネジメント学会・選挙管理委員会
委員長 亀井 智子 (聖路加看護大学)

1. 選挙管理委員会の設置

平成21年7月8日 選挙管理委員の指名・委嘱

亀井 智子 (聖路加看護大学)

柴山志穂美 (社会福祉法人 洛和福祉会 洛和ヴィラサラサ)

高砂 裕子 (社)南区医師協会 在宅介護支援センター)

林 和美 (国際医療福祉大学)

渡辺 光子 (青山環境デザイン研究所)

平成21年11月30日 選挙管理委員会設置

2. 選挙管理委員会の開催

第1回 平成21年12月10日

委員長互選、選挙手順・日程等作成

第2回 平成22年6月12日

開票、当選理事10名(定数の2分の1)決定

3. 開票の結果

日時;平成22年6月12日(土) 10時~11時30分

開票者;選挙管理委員5名、事務局長立ち会いの計6名により開票と集計を行った。

結果;有効投票者数 38名(投票率82.6%)

有効投票数 188票(5名連記37名、3名のみ連記1名)

選挙選出理事(別表のとおり)

① 選出は、得票数の多い順に上位10名とし、次点、次次点者名簿を作成した。

② 同数票獲得者については、「理事及び監事選出規則」第6条の規定に基づき、委員長がくじ引きを行い順位を付けた。

別紙

平成 22 年 6 月 12 日

「選挙選出理事」名簿

(任期 3 年；平成 22 年 8 月 29 日～平成 25 年総会終了日) (敬称略)

番号	得票数	会員番号	氏 名	所 属 等	備 考
1	2 2	2 3 1	白澤 政和	大阪市立大学大学院	
2	1 9	1 1 9	竹内 孝仁	国際医療福祉大学大学院	
3	1 6	1	井形 昭弘	名古屋学芸大学	就任辞退
4	1 6	1 1 8	服部万里子	立教大学	
5	1 1	9 0	白木 裕子	株式会社フジケア	
6	1 0	1 2 2	橋本 泰子	大正大学名誉教授	
7	9	8 3	前沢 政次	倶知安厚生病院	
8	5	2 3 0	佐藤美穂子	(財) 日本訪問看護振興財団	
9	5	4 5 2	野中 猛	日本福祉大学	
10	4	4 5	福富 昌城	花園大学	
次点	4	次点	田中 滋	慶應義塾大学大学院	
次次点	4	次次点	橋本 正明	立教大学	

(注) 井形昭弘理事長は、理事就任を辞退されましたので、次点者の田中滋理事が繰り上げとなりました。

平成 22 年 7 月 15 日

(3)「推薦理事」(名簿)

(任期 3 年；平成 22 年 8 月 29 日～平成 25 年総会終了日)(敬称略)

(会員番号順)

会員番号	氏 名	所 属 等	備 考
1 0 1	橋本 正明	立教大学	
1 5 6	副田あけみ	首都大学東京	就任辞退
1 7 1	高砂 裕子	(社)南区医師協会 居宅介護支援センター	
3 9 6	遠藤 英俊	国立長寿医療研究センター	
4 4 5	佐々木栄子	埼玉医科大学	
4 4 8	関田 康慶	東北大学大学院	
4 5 1	石渡 和実	東洋英和女学院大学	
4 5 8	落久保裕之	(NPO) 広島県介護支援専門員協会	
4 8 3	奥田 龍人	(医) 溪仁会 岩内町地域包括支援センター	
4 3 3 6	堀尾 愼彌	熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会	
次点 9 1	亀井 智子	聖路加看護大学	
次次点 3 9 8	岡田 進一	大阪市立大学大学院	

(注) 副田あけみ理事は、就任を辞退されましたので、次点者の亀井智子氏が繰り上げとなりました。

(4) 平成 22 年度「推薦理事・監事名簿」(案)

(任期 3 年；平成 22 年 8 月 29 日～平成 25 年総会終了日) (敬称略)

(会員番号順)

会員番号	氏 名	所 属 等	備 考
9 1	亀井 智子	聖路加看護大学教授	
1 0 1	橋本 正明	立教大学コミュニティ福祉学部教授	
1 7 1	高砂 裕子	(社) 南区医師協会 居宅介護支援センター 管理者	
3 9 6	遠藤 英俊	国立長寿医療研究センター内科総合診療部長	
4 4 5	佐々木栄子	埼玉医科大学保険医療学部看護学科教授	
4 4 8	関田 康慶	東北大学大学院経済学研究科教授	
4 5 1	石渡 和実	東洋英和女学院大学人間科学部人間福祉学科 教授	
4 5 8	落久保裕之	(NPO) 広島県介護支援専門員協会副理事長	
4 8 3	奥田 龍人	(医) 溪仁会 岩内町地域包括支援センター	
4 3 3 6	堀尾 愼彌	熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議 会会長	
監事・1 2 3	多田 哲夫	多田哲夫会計事務所長 (公認会計士)	
監 事	村尾 俊明	日本社会福祉士会相談役	

(参考)

選挙選出理事・推薦理事及び監事（全役員名簿）

（第4期3年；平成22年8月29日～平成25年総会終了日）（敬称略・会員番号順）

会員番号	氏 名	勤務地	所 属 等	備 考
4 5	福富 昌城	京都府	花園大学	選挙理事
6 1	田中 滋	神奈川県	慶應義塾大学大学院	
8 3	前沢 政次	北海道	倶知安厚生病院総合診療科	
9 0	白木 裕子	福岡県	株式会社 フジケア	
1 1 8	服部万里子	埼玉県	立教大学コミュニティ福祉学部	
1 1 9	竹内 孝仁	東京都	国際医療福祉大学大学院	
1 2 3	橋本 泰子	東京都	大正大学名誉教授	
2 3 0	佐藤美穂子	東京都	(財)日本訪問看護振興財団	
2 3 1	白澤 政和	大阪府	大阪市立大学大学院生活科学研究科	
4 5 2	野中 猛	愛知県	日本福祉大学	
9 1	亀井 智子	東京都	聖路加看護大学	推薦理事
1 0 1	橋本 正明	埼玉県	立教大学コミュニティ福祉学部	
1 7 1	高砂 裕子	神奈川県	(社)南区医師協会 居宅介護支援センター	
3 9 6	遠藤 英俊	愛知県	国立長寿医療研究センター内科総合診療部	
4 4 5	佐々木栄子	埼玉県	埼玉医科大学保険医療学部看護学科	
4 4 8	関田 康慶	宮城県	東北大学大学院経済学研究科	
4 5 1	石渡 和実	神奈川県	東洋英和女学院大学人間科学部人間福祉学科	
4 5 8	落久保裕之	広島県	(NPO) 広島県介護支援専門員協会	
4 8 3	奥田 龍人	北海道	(医) 漢仁会法人本部 SW 支援部/岩内町地域包括支援センター	
4 3 3 6	堀尾 慎彌	熊本県	熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会	
1 2 3	多田 哲夫	東京都	多田哲夫会計事務所長（公認会計士）	監事
—	村尾 俊明	東京都	日本社会福祉士会相談役	監事

(2) 報 告 事 項

資料目次

①	平成 21 年度認定ケアマネジャー試験実施結果・・・・・・・・・・	頁
②	年度別認定ケアマネジャー試験実施及び認定登録状況・・・・・・・・	頁
③	認定ケアマネジャー資格更新審査実施結果・・・・・・・・・・	頁
④	認定ケアマネジャー資格更新細則の一部改正・・・・・・・・・・	頁
⑤	平成 22 年度認定ケアマネジャー試験及び資格更新実施計画(案)	頁
⑥	認定ケアマネジャー資格認定要領(平成 22 年度)・・・・・・・・ (申請様式省略)	頁
⑦	平成 22 年度認定ケアマネジャー資格更新要領・・・・・・・・・・ (申請様式省略)	頁

平成 21 年度 認定ケアマネジャー試験結果

1. 平成 21 年度受験対象者

(1) 会員の場合：平成 19 年 6 月 30 日までの入会者（申請時に会員暦 2 年以上）で介護支援専門員の資格を有する者から既認定ケアマネジャー登録者（561 名）を除く 1225 名

(2) 非会員の場合：居宅介護支援における 3 年以上の実務経験者

2. 申請状況

受験申込書受付数 122 名《会員 69 名・非会員 53 名》（前年度 126 名）

3. 書類審査（8 月 10 日（月）第 2 回資格認定委員会）

書類審査合格者 122 名（会員 69 名・非会員 53 名）

4. 受験者 119 名（会員 67 名・非会員 52 名）

5. 合格者 94 名（会員 50 名・非会員 44 名）

（ ）内は前年度

都道府県名	会 員		非会員		都道府県名	会 員		非会員	
北海道	2	(6)	1	(4)	滋賀県			3	
青森県	1				京都府		(3)	2	
岩手県		(1)			大阪府	3	(3)	2	(1)
宮城県			1		兵庫県	1	(2)	1	
秋田県					奈良県			3	
山形県	1		3	(1)	和歌山県		(1)	3	
福島県		(1)			鳥取県	1		1	
茨城県		(1)			島根県				
栃木県		(1)	1		岡山県	2	(1)		
群馬県					広島県	6	(4)		
埼玉県	1	(2)		(1)	山口県	1			
千葉県	2	(3)	2		徳島県			2	
東京都	4	(7)	2	(3)	香川県		(1)		
神奈川県	4	(4)	3	(1)	愛媛県	1	(1)		
新潟県	3	(1)	2		高知県		(1)		
富山県		(1)	1		福岡県	3	(4)	3	
石川県					佐賀県	2	(1)	1	
福井県					長崎県	2			
山梨県			1	(1)	熊本県		(2)		
長野県					大分県		(1)		
岐阜県	1	(3)		(1)	宮崎県				
静岡県	2	(2)	3		鹿児島県				
愛知県	7	(16)	3	(1)	沖縄県				
三重県		(3)		(1)	計	50	(77)	44	(15)

* 過去の受験者；20 年度受験 4 名、19、20 年度受験 1 名

* 都道府県別人数は住所地による。

年度別認定ケアマネジャー試験実施及び認定登録状況

1.年度別認定ケアマネジャー試験実施結果

項 目	平成15年度 (第1回)	平成16年度 (第2回)	平成17年度 (第3回)	平成18年度 (第4回)		平成19年度 (第5回)		平成20年度 (第6回)		平成21年度 (第7回)	
				会 員	非会員	会 員	非会員	会 員	非会員	会 員	非会員
申請者	31名	87名	179名	94名	17名	112名	28名	97名	20名	69名	53名
資格審査合格者 (書類審査)	29	87	179	94	17	112	28	97	19	69	53
口頭試験受験者	26 (欠3)	84 (欠3)	178 (欠1)	92 (欠2)		111 (欠1)	27 (欠1)	94 (欠3)	18 (欠1)	67 (欠2)	52 (欠1)
合格者	15	57	141	82	12	85	19	77	15	50	44
合格率	57.6%	67.9%	79.2%	89.1%	70.6%	76.6%	70.4%	81.9%	83.3%	74.6%	84.6%

(注) 欠は受験欠席者数

2.認定ケアマネジャー登録数と認定ケアマネジャーの会員の推移

受験年度	申請者	試験合格者	認定委員	試験委員	会員計	非会員計	合計	更新辞退者	現在合計	認定ケアマネジャーの 会入会者	スーパーハイザー養成講座 全過程修了者
15年度	31	15	9	26	48	2	50	2	48	32	7
16年度	87	57	0	23	74	6	80	4	76	54	24
17年度	179	141	0	0	125	16	141		141	103	48
18年度	111	94	0	0	84	10	94		94	65	33
19年度	140	104	0	0	94	10	104		104	80	27
20年度	117	92	0	0	87	5	92		92	64	18
21年度	122	94	0	0	68	26	94		94	50	0
計	787	597	9	49	580	75	655	6	649	448	157

(注1)非会員計には学会退会者を含む

(注2)認定ケアマネジャーの会入会者数は平成22年4月1日現在

平成 21 年度
資格更新審査結果

審査日時；平成 21 年 11 月 14 日（土）・15 日（日）

審査場所；大正大学 2 号館 3 階 236 社会福祉学研究室 2

1. 平成 21 年度資格更新

対 象 者	人数	更新申請者	申請辞退者	未申請者
理事会指名試験委員	23 名	16 名	2 名	5 名
平成 16 年度試験合格者	57 名	43 名	2 名	12 名
計	80 名	59 名	4 名	17 名

（注）未申請者数の中に学会退会者を含む。

2. 参考（平成 20 年度資格更新結果）

対 象 者	人数	更新申請者	申請辞退者	未申請者
理事会指名試験委員	35 名	27 名	1 名	7 名
平成 15 年度試験合格者	15 名	11 名	1 名	3 名
計	50 名	38 名	2 名	10 名

（注）未申請者の中に学会退会者を含む。

認定ケアマネジャー資格更新細則の一部改正

新旧条文比較

現行	改正案	改正の理由
(認定ケアマネジャー資格更新に必要な実績) 第2条 次表に示す<u>ような学術大会(学会)、研修会等への参加、研究活動等の実績を持ち、かつ次の2要件をいずれも満たしていること。</u> <u>1 次表各項の実績点数が合計 30 点以上であること。</u> <u>2 上記 30 点のうち、本学会が年に1回主催する学術大会への参加点が 10 点以上であること。</u>	(同左) 第2条 次表に示す学術大会(学会)、研修会等への参加、研究活動等の<u>実績点数が合計 30 点以上であること。</u> 2 項を削除	平成 18 年度試験から非会員に門戸が開かれ、平成 23 年度更新時期を迎える。 非会員に対し第2条第2項の学術大会参加を会員並みに義務付けることになり適当でないためこれを撤廃する。

(次表) 一部改正

区 分	一般参加		講演、シンポジスト 研究発表、事例提供等	
	現行	改正	現行	改正
①本学会主催の学術大会	5	10	10	15
②本学会主催もしくは他団体と共催の研修会、講演会、シンポジウム等	5	5	10	10
③本学会が承認するケアマネジメントに関する各種研修会、講演会、シンポジウム、フォーラム等	5	5	5	5
④本学会が承認する他学会	2	2	5	5
⑤ケアマネジメントに関する論文、著書	現行			
	10			

改正理由

本学会主催の学術大会の参加点数を改正し、実績点数を取得し易くして認定資格更新の促進を図る。

平成22年度「認定ケアマネジャー試験」及び「資格更新」実施計画(案)

* ◆印は資格更新実施計画

月	事 項	資格認定委員会・試験委員会
5	◎ 認定申請の手引き作成 ◎ 受験資格者への試験案内ホームページ掲載 (注)ホームページから申請書類を取り出せない方には、案内書送付	第1回資格認定委員会は中止
6	◆ 資格更新申請の手引き書作成 ◆ 資格更新申請の案内 ◆ 資格更新者へ手引き書送付 ◎ 受験申請書受付開始(15日)	
7	◎ 受験者数の基づく試験委員の確定 ◎ 受験申請書締切(31日)	
8	◎ 受験者名簿作成等書類審査の準備 ◆ 資格更新申請書受付開始(1日) ◎ 受験者に対する書類審査結果通知(下旬)	9日(月)第2回資格認定委員会 13:00～16:00(会場:弘済会館) * 受験申請書類審査 * 試験チームの編成 * 試験日程の調整 * 試験実施方法の確認
9	◎ 受験者に対する口頭試験実施通知(上旬) ◆ 資格更新申請締切(30日)	10日(金)第3回資格認定委員会・第1回試験委員会(合同会議) 13:00～16:30(会場:東医健保会館) * 合否判定基準等の検討打合せ * 試験委員日程調整及びチーム確認 * チーム別試験実施の打合せ (担当受験者の申請書類(写)持ち帰り)
10		
11	◎ 第8回口頭試験の実施(13・14日) ◆ 資格更新審査の実施 (注)口頭試験の時間帯に資格認定委員が実施する。	13日(土)第4回資格認定委員会・第2回試験委員会(合同会議) 12:00～12:50(会場:東医健保会館) * 口頭試験実施方法等の確認 ● 口頭試験 13:00～16:40 14日(日) ● 口頭試験 9:30～11:30 13:30～16:00(会場:東医健保会館) 合否判定会議
12	◎ 口頭試験結果通知 ◆ 資格更新結果通知	
1	◎ 認定証送付	

日本ケアマネジメント学会
平成 22 年度認定ケアマネジャー資格認定要領

1. 申請資格

申請資格は、次の各項の要件を満たす者としします。

- (1) 介護支援専門員の資格を有する者
- (2) 本学会会員で、平成 20 年 6 月 30 日までに入会し、会員として承認されている者（継続 2 年以上の学会員）

ただし、平成 20 年 7 月 1 日以降に入会され会員歴 2 年に満たない場合には、次の (3) 項による非会員として受験することができます。

- (3) 本学会非会員にあつては、居宅介護支援におけるケアマネジャーとして平成 22 年 7 月 31 日現在で 3 年以上実務に従事している者又は 3 年以上の実務経験を有する者

なお、現在のところ介護保険施設等のケアマネジャーは、本認定資格申請の対象になっておりませんので、ご留意下さい。（居宅での 3 年以上の実務経験者を除く。）

2. 申請手続き

申請手続きは、次のとおりです。

- (1) 学会ホームページより申請書類を印刷できます。学会事務局に申請書類を請求する場合は、送付先住所・氏名を明記した返信用封筒（A4 サイズ）に 240 円の切手を貼付し、申請書類実費として 200 円の切手を同封してください。
- (2) 受験申請書の受付期間は、平成 22 年 6 月 25 日から 7 月 31 日（必着）までとします。
- (3) 申請に必要な書類は次のとおりです。

なお、「認定ケアマネジャー認定規則細則」第 2 条の実績点数及び第 3 条（4）の①、②、③に定める諸書類については、今回は免除です。

- 1) 日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャー試験個人票
- 2) 認定ケアマネジャー資格申請書……………【様式 1】
- 3) 介護支援専門員登録証明書（写し）もしくは、介護支援専門員証（写し・期限の記入のあるもの）……………【様式 2】
- 4) 実務経験証明証（非会員で受験の方は通算して 3 年間（36 ヶ月）以上の証明が必要）……………【様式 3】
- 5) 担当事例数及び担当事例 1 覧（20 例以上）……………【様式 4-1、2】
- 6) 事例一覧のうち下記に該当する事例概要 3 例
 - ア 事例概要 1（要支援～要介護 1・2 の事例から 1 例）……………【様式 5-1-①②③】
 - イ 事例概要 2（要介護 3・4・5 の事例から 1 例）……………【様式 5-2-①②③】
 - ウ 事例概要 3（認知症を主とした事例から 1 例）……………【様式 5-3-①②③】

ただし、地域包括支援センターに属するケアマネジャーの場合には、介護予防事例又

は過去に担当した介護事例とし、介護予防事例においては、所属する市町村指定の様式で提出できます。

- 7) 前記6)の3事例概要にかかる「居宅サービス計画書(1)、(2)」・・・【様式6-①②】

(注) 事例概要の内容において、個人が特定される表記については、イニシャルではないアルファベットなどの記号でご記入下さい。

- (4) 申請書提出部数

申請書類は、上記(3)の申請書類の正本1部を1セットにして、その写し3部をそれぞれクリップで留めて提出してください。(ホチキス留めはしないでください。)

3. 申請後の手順

- (1) 申請書類審査

申請書類審査は、平成22年8月9日開催の「認定ケアマネジャー資格認定委員会」において資格条件を充たしているかどうかを審査します。

- (2) 申請書類審査結果(受験資格の有無)の通知

申請書類審査の結果通知は、各申請者に対して平成22年9月上旬頃までに通知します。なお、受験資格「有り」とされた方には、受験会場、時刻等の詳細を同通知にてお知らせします。

- (3) 口頭試験の実施

口頭試験の実施は、次の日程で認定ケアマネジャー試験委員による口頭試験を行います。

口頭試験実施時期 平成22年11月13日(土)～14日(日)

口頭試験実施会場 「東医健保会館」(東京都新宿区南元町4)

- (4) 試験合否判定

口頭試験合否判定は、試験終了後に開催する認定ケアマネジャー資格認定委員会及び試験委員会・合同会議において判定し、11月下旬開催予定の理事会で合否を決定した後、各受験者に郵送で通知します。なお、電話等での合否のお問い合わせには一切応じておりません。

- (5) 認定ケアマネジャーの登録

認定資格の登録は、上記合格者で登録手続きを完了した方から順次、認定ケアマネジャーとして登録を行い認定証を交付します。認定資格の有効期間は、平成23年4月1日から5年間となります。

4. 申請等に必要な費用

申請から認定証交付までに必要な費用は、次のとおりです。

(1) 本学会会員歴2年以上の場合

- 1) 書類審査料 7,000円(申請書類提出時に払込み)
- 2) 口頭試験料 25,000円(受験資格の通知後に該当者のみ払込み)
- 3) 登録・認定証料 8,000円(口頭試験合格者のみ払込み)

(2) 非会員及び(1)以外の学会員の場合

- 1) 書類審査料 10,000円(申請書類提出時に払込み)
- 2) 口頭試験料 35,000円(受験資格の通知後に該当者のみ払込み)
- 3) 登録・認定証料 12,000円(口頭試験合格者のみ払込み)

5. 審査料等の払込要領

審査料等の払込は、郵便振替用紙(青色)に下記事項を記入の上、それぞれ上記4の(1)及び(2)の()書きに指定いたしました時期に、郵便局からお振込ください。

■ 口座番号： 00180-0-0499364

■ 加入者名： 日本ケアマネジメント学会認定審査

* 日本ケアマネジメント学会会員の方は通信欄に学会会員番号を必ずご記入ください。

日本ケアマネジメント学会
平成 22 年度認定ケアマネジャー資格更新要領

1 更新申請の対象者

更新申請の対象者は、「認定ケアマネジャー資格更新細則」（以下「更新細則」という。）の第 1 条及び第 2 条に定める次の各項の要件を満たす方とします。

（1）「認定ケアマネジャー制度規則」第 13 条各号に定める資格の喪失に該当しない方。

（更新細則第 1 条・・・以下カッコ内に示す条文は更新細則の条文です。）

（2）更新細則第 2 条に示す実績点数表（以下「実績点数表」という。）の合計点数が 30 点以上を必要とします。（第 2 条）

（注） 平成 22 年 3 月 1 日理事会において、更新細則第 2 条第 1 項第 2 号の資格更新に必要な研修会等の実績点数について改正がありました。（本要領 3 頁「10－【参考】」をご参照下さい。）

2 更新申請の受付期間

更新申請の受付期間は、平成 22 年 8 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日までです。

3 更新申請に必要な書類と手続き

更新申請に必要な書類は、次のとおりです。なお、この書類は学会ホームページからプリントアウトもできます。

（1）認定ケアマネジャー認定資格更新申請書 【様式 1】

（2）実績の内容 【様式 2－①、②、③、④、⑤】

実績の内容の様式には、上記（1）に定める申請書「認定ケアマネジャー資格更新細則第 2 条に基づく実績」の区分毎に取得された点数に係る研修会等への参加、発表、論文執筆等の内容を記入して下さい。

（3）実績を証明する書類（様式に貼付又は綴じ込み） 【様式 3－①、②、③、④、⑤】

実績点数の裏付けとなる書類とは、更新細則第 3 条の 2 号①から③に示す参加証明書等を云い、次の要領でご提出下さい。

ア 学術大会、学会、研修会等に参加した実績の場合は、主催者の発行する参加証明書若しくは参加費領収書等（コピーでも差し支えないこと。）とします。

イ 講演、シンポジウム、研究発表等を行った実績の場合は、プログラム及び抄録集などの表紙と申請者本人の氏名の掲載されているページのコピーを同封して下さい。

ウ ケアマネジメントに関する論文発表の場合は、全文のコピーとし、著書の場合は、表紙と申請者本人の執筆が分かる目次又は執筆者一覧ページのコピーを同封して下さい。

4 提出部数及び送付先

資格更新に必要な提出部数及び送付先は、本文 1 部を学会事務局に送付して下さい。

【送付先住所】〒160-0003 東京都新宿区本塩町 12 四谷ニューマンション 206 号

5 実績点数に関する留意事項等

(1) 実績点数表の④欄の「本会が承認する他学会」とは、例示すると次のような学会が該当します。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1) 日本老年医学会 | 2) 日本老年社会科学会 |
| 3) 日本基礎老化学会 | 4) 日本老年歯科学会 |
| 5) 日本老年精神医学会 | 6) 日本老年歯科医学会 |
| 7) 日本老年看護学会 | 8) 日本社会福祉学会 |
| 9) 日本地域福祉学会 | 10) 日本介護福祉学会 |
| 11) 日本理学療法士学会 | 12) 日本作業療法士学会 |
| 13) 日本リハビリテーション医学会 | 14) 日本言語聴覚士学会 |
| 15) 日本リハビリテーション看護学会 | |

なお、当学会が 2 年に 1 回、老年学会との合同開催として実施する研究大会の場合には、1) から 7) の他学会に参加しても実績点数として加えることはできません。(第 2 条の注 2)

また、上記例示以外の学会参加を実績として認められるかどうかの判断については、資格認定委員会に於いて審議を行い決定します。(同条の注 2)

(2) 実績点数表の⑤欄の「ケアマネジメントに関する論文、著書」については、団体等の紀要、報告書、情報提供等のためのパンフレット等は認められません。(同条の注 3)

(3) 講演、研究発表及び論文、著書等について共同で行った場合は、講演者、研究発表者の別なく同点数とします。

(4) 申請書提出に際し、実績として判断し難いときは、資格認定委員会に於いて審議を行いますので、事務局まで照会して下さい。(同条の注 4)

なお、事務局に照会する時間的余裕がないなどの特別の場合には、同委員会において審議しますので参加された全ての研修会等をご記入の上提出して下さい。

6 認定更新審査

(1) 審査は、資格認定委員会に於いて行います。(第 4 条)

(2) 審査は、認定ケアマネジャー認定試験と同時期(平成 22 年 11 月 13 日・14 日)に実施します。

(3) 審査結果の通知は、理事会の承認を経て 1 2 月頃に理事長から本人に通知します。(第 4 条)

7 資格更新登録と認定証の交付

資格更新が承認されたときは、審査結果通知に同封しました払込取扱票により、更新審査料 2,000 円及び登録認定証料 3,000 円を郵便局から学会にお支払い下さい。(第 5 条)

学会は、この手続きを確認した上で認定ケアマネジャーとして更新登録を行い、認定証の交付を行います。(第 6 条)

8 更新後の有効期間

更新後の有効期間は、更新前有効期間終了日に続く 5 年間とし、認定証に明示します。
(第 7 条)

9 更新審査料及び、登録認定証料の払込み期限

更新審査料及び登録認定証料の払込は、平成 23 年 2 月末日までにお振り込み下さい。
なお、払込取扱票の通信欄に学会会員番号をご記入ください。

10【参考】

更新細則の一部改正

(1) 新旧条文比較

旧条文	改正新条文
(認定ケアマネジャー資格更新に必要な実績) 第 2 条 次表に示すような学術大会(学会)、研修会等への参加、研究活動等の実績を持ち、且つ次の 2 要件をいずれも満たしていること。 1 次表各項の実績点数が合計 30 点以上であること。 2 上記 30 点のうち、本学会が年に 1 回開催する学術大会への参加点が 10 点以上であること。	(同左) 第 2 条 次表に示す学術大会(学会)、研修会等への参加、研究活動等の実績点数が合計 30 点以上であること。 (2 号削除)

(2) 実績点数表の一部改正

区 分	一般参加		講演、シンポジスト 研究発表、事例提供等	
	改正前	改正後	改正前	改正後
①本学会主催の学術大会	5	10	10	15
②～⑤ 現行どおり	②～⑤ 現行どおり	—	②～⑤ 現行どおり	—

参 考 資 料

1	各年度末現在の会員数の推移・・・・・・・・・・	頁
2	会員の状況（平成22年7月1日現在）・・・・・・・・	頁
	（1）年齢階級別内訳	
	（2）都道府県別内訳	
	（3）資格保有状況	
3	認定ケアマネジャー制度規則・・・・・・・・・・	頁
4	認定ケアマネジャー認定規則細則・・・・・・・・	頁
5	認定ケアマネジャー資格更新細則・・・・・・・・	頁
6	日本ケアマネジメント学会会則・・・・・・・・・・	頁

1.2010年7月1日現在の会員数の推移

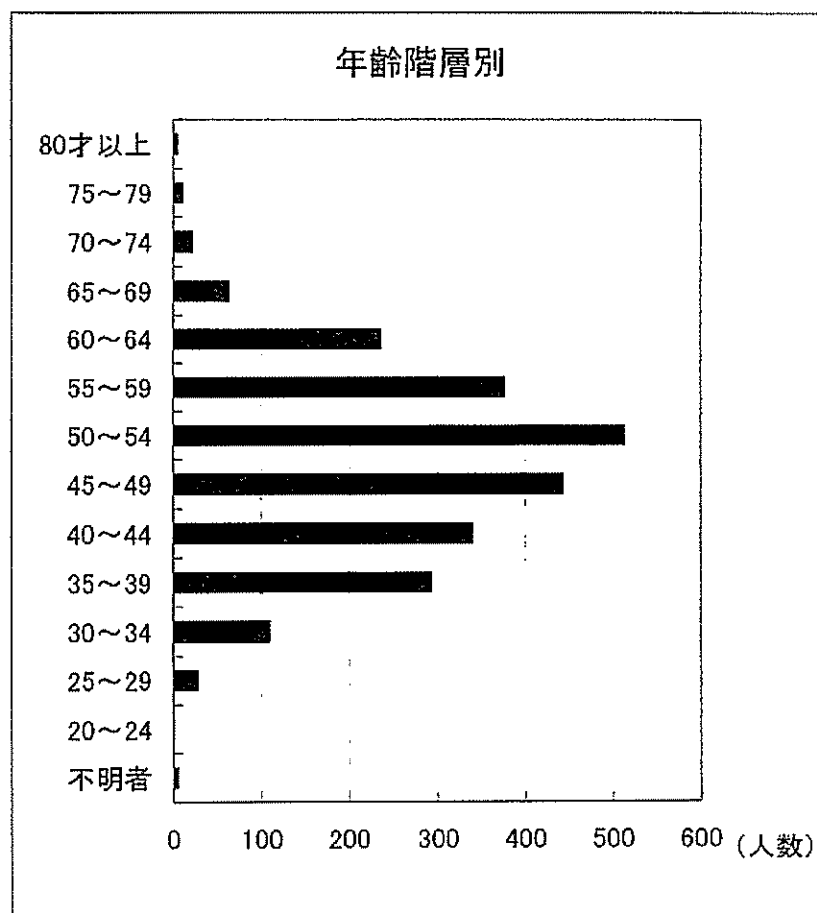
区 分		入 会	退 会	区分変更	計	累 計
平成13年度～17年度 13.7.14～18.3.31	正会員	2730	△ 352	0	2378	2378
	学生会員	68	△ 11	0	57	57
	賛助会員	9	△ 2	0	7	7
	計	2807	△ 365	0	2442	2442
平成18年度 17.4.1～18.3.31	正会員	462	△ 258	5	209	2587
	学生会員	17	△ 5	△ 5	7	64
	賛助会員	0	△ 2	0	△ 2	5
	計	479	△ 265	0	214	2656
平成19年度 18.4.1～19.3.31	正会員	298	△ 398	1	△ 99	2488
	学生会員	9	△ 5	△ 1	3	67
	賛助会員	1	0	0	1	6
	計	308	△ 403	0	△ 95	2561
平成20年度 19.4.1～20.3.31	正会員	187	△ 297	△ 1	△ 111	2377
	学生会員	13	△ 6	1	8	75
	賛助会員	0	△ 2	0	△ 2	4
	計	200	△ 305	0	△ 105	2456
平成21年度 20.4.1～21.3.31	正会員	268	△ 431	△ 1	△ 164	2213
	学生会員	21	△ 12	1	10	85
	賛助会員	1	0	0	1	5
	計	290	△ 443	0	△ 153	2303
平成22年度 7.1現在	正会員	158	△ 21	4	141	2354
	学生会員	11	△ 1	△ 4	6	91
	賛助会員	0	0	0	0	5
	計	169	△ 22	0	147	2450
合 計	正会員	4103	△ 1757	8	2354	
	学生会員	139	△ 40	△ 8	91	
	賛助会員	11	△ 6	0	5	
	計	4253	△ 1803	0	2450	

2.会員の状況

2010.7.1現在正会員及び学生会員(賛助会員を除く)

(1)年齢階層別内訳

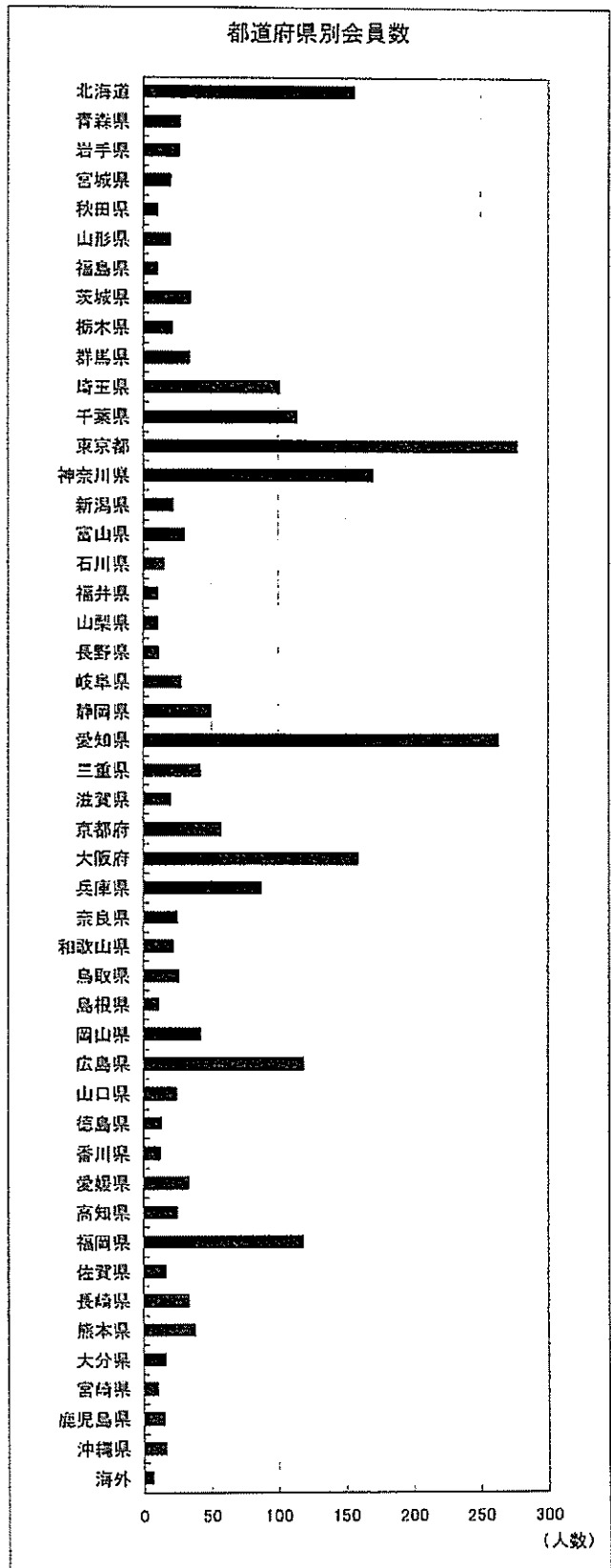
年 齢	人 数	割 合
80才以上	4	0.2%
75～79	11	0.4%
70～74	22	0.9%
65～69	63	2.6%
60～64	236	9.7%
55～59	376	15.4%
50～54	513	21.0%
45～49	443	18.1%
40～44	340	13.9%
35～39	293	12.0%
30～34	110	4.5%
25～29	28	1.1%
20～24	1	0.0%
不明者	5	0.2%
計	2445	100.0%



(2)都道府県別内訳

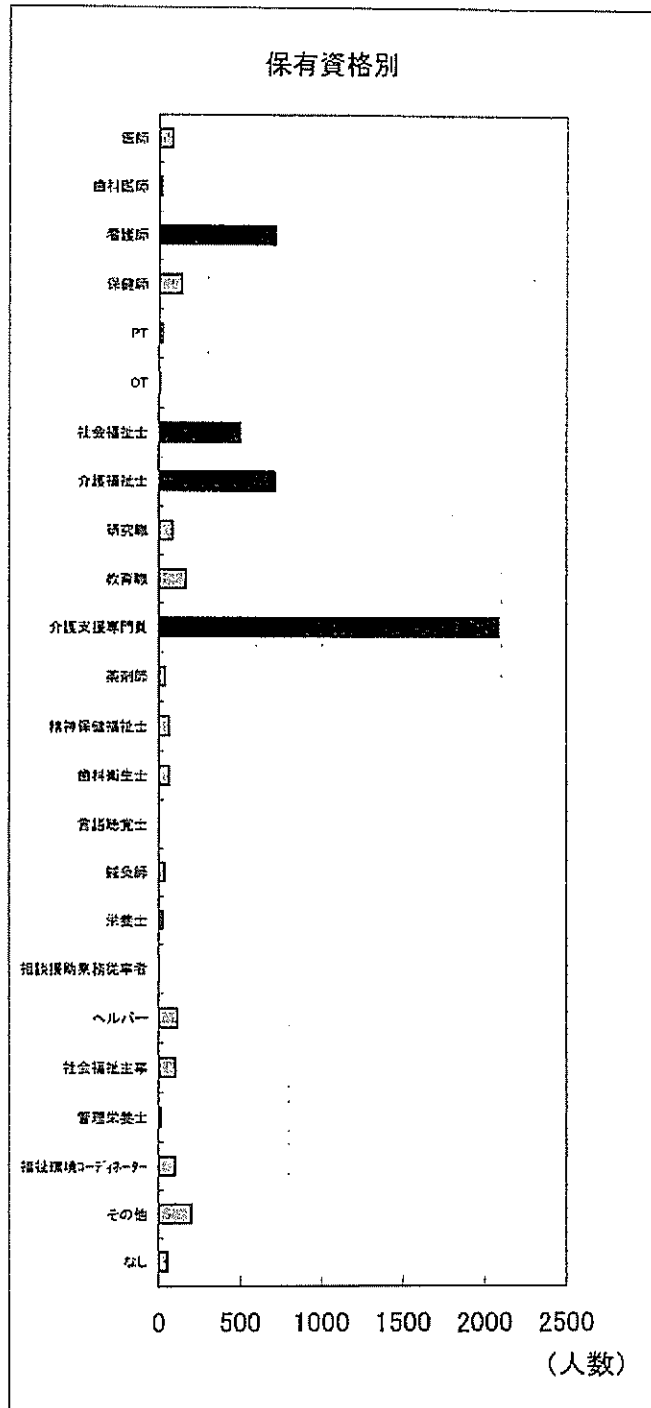
都道府県名	人 数	認定7744ｼｬｰ
北海道	156	48
青森県	27	5
岩手県	26	5
宮城県	20	0
秋田県	10	2
山形県	20	6
福島県	10	1
茨城県	35	6
栃木県	21	7
群馬県	34	6
埼玉県	101	12
千葉県	114	24
東京都	277	49
神奈川県	170	35
新潟県	22	8
富山県	30	10
石川県	15	3
福井県	10	0
山梨県	10	3
長野県	11	2
岐阜県	28	8
静岡県	50	12
愛知県	263	103
三重県	42	10
滋賀県	20	4
京都府	57	9
大阪府	159	29
兵庫県	87	19
奈良県	25	5
和歌山県	22	6
鳥取県	26	7
島根県	11	2
岡山県	42	8
広島県	119	33
山口県	24	4
徳島県	13	3
香川県	12	3
愛媛県	33	10
高知県	25	4
福岡県	118	35
佐賀県	16	4
長崎県	33	8
熊本県	38	5
大分県	16	2
宮崎県	10	1
鹿児島県	15	2
沖縄県	16	1
海外	6	0
計	2445	569

※認定7744ｼｬｰ数は概算で、20年度合格者を含み、非会員を除く



(3)資格保有状況(複数保有あり)

資 格	人 数	割 合
医師	82	1.5%
歯科医師	17	0.4%
看護師	718	14.1%
保健師	141	2.7%
PT	23	0.4%
OT	8	0.2%
社会福祉士	499	8.1%
介護福祉士	716	13.1%
研究職	82	1.5%
教育職	167	2.8%
介護支援専門員	2083	40.3%
薬剤師	41	0.9%
精神保健福祉士	64	0.9%
歯科衛生士	66	1.5%
言語聴覚士	1	0.0%
鍼灸師	34	0.7%
栄養士	21	0.4%
相談援助業務従事者	5	0.1%
ヘルパー	112	1.9%
社会福祉主事	101	1.7%
管理栄養士	17	0.4%
福祉環境コーディネーター	103	1.8%
その他	201	3.5%
なし	53	1.0%
計	5355	100.0%



日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャー制度規則

第1章 総 則

(目的)

第1条 この制度は、高齢者等への社会的支援において中心的な役割を担うケアマネジャーの資質の向上を図り、ケアマネジメントの一層の充実を通じて利用者の生活の質の向上と住民の福祉に貢献し、合わせてケアマネジャーの専門性と社会的地位の一層の確立に資することを目的とする。

(学会の必要な業務・活動)

第2条 日本ケアマネジメント学会（以下、本学会）は、前条の目的を達成するため本学会認定ケアマネジャーの認定を含む必要な業務及び活動を行う。

(学会の認定ケアマネジャー活動の支援)

第3条 本学会は認定ケアマネジャーの広告、研修会講師の推薦等、認定ケアマネジャーの社会的地位及びその活動の支援等を積極的に行う。

第2章 認定ケアマネジャーの資格

(資格要件)

第4条 認定ケアマネジャーになるためには、次の各項の全てを満たさなければならない。

1. 介護保険法の定める介護支援専門員（以下、ケアマネジャーとする）として登録されており、ケアマネジャーとしての人格及び見識を備えていること。
2. 本学会員にあっては、資格申請時において継続して2年以上本学会会員であると。
3. 本学会非会員においては、居宅介護支援におけるケアマネジャーとして3年以上の実務経験を有すること。
4. 本学会の主催する学会大会への参加等、認定ケアマネジャー制度施行細則に定める資格申請要件を満たしていること。
5. 本学会の施行する資格試験に合格すること。

第3章 資 格 認 定

(資格認定委員会)

第5条 本学会に認定ケアマネジャー資格認定委員会（以下 委員会）を設け、認定業務その他必要な業務を行う。

(資格認定委員)

第6条 委員会は、本学会理事会において適任と認められた資格認定委員によって構成される。

(担当理事の配置)

第7条 委員会に理事会より選任された担当理事を1名置き、委員会業務を統括する。

(委員長)

第8条 担当理事は委員長を兼務することができる。

(委員会業務)

第9条 委員会は理事会の定めた委員会内規に基づいて委員会業務を行う。

第4章 資格の有効期間と更新

(資格の更新)

第10条 認定ケアマネジャーは、資格取得後も資質の向上を図り本学会の定める期間ごとに資格を更新しなければならない。

(資格の有効期間)

第11条 認定ケアマネジャーの資格は、本学会の施行する資格試験に合格し認定された翌年度の4月1日より5年間とする。

(資格更新の要件)

第12条 資格更新に必要な要件は、認定ケアマネジャー資格更新細則に定めるところによる。

第5章 資格の喪失

(資格の喪失)

第13条 認定ケアマネジャーは、次の各項のいずれかに該当するときには認定ケアマネジャーの資格を失う。

1. ケアマネジャーの資格を喪失したとき。
2. 認定ケアマネジャーの資格を自ら辞退したとき。
3. 申請書類に虚偽があったとき。
4. 資格更新を行わなかったとき。
5. 本学会理事会において認定ケアマネジャーとして適格でないと判断されたとき。

第6章 補 則

第14条 本制度及びこの規則は、総会の議決を得て平成15年5月30日より施行する。

第15条 本規則の改廃には理事会の発議及び評議員会の承認を経て総会の議決を必要とする。

第16条 この制度規則第4章の一部改正は、平成16年4月1日より施行する。

第17条 この制度規則第4条及び第13条の一部改正は、平成19年4月1日より施行する。

認定ケアマネジャー認定規則細則

(認定ケアマネジャー対象者)

第1条 認定ケアマネジャー制度は、当分の間、法の定める介護支援専門員の資格を有する者で、認定ケアマネジャーの資格を得ようとする者のうち、規則(本則)第2章第4条に該当するものを対象とする。

(認定ケアマネジャー資格申請に必要な実績)

第2条 認定ケアマネジャーの資格を申請する者は、次表の各区分に定める実績点数の合計が15点以上に達していなければならない。

区 分	一般参加	講演、シンポジスト、研究発表、事例提供等
①本学会主催の学会大会	5点	10点
②本学会主催もしくは他団体と共催の研修会、講習会、講演会、シンポジウム等	5点	10点
③本学会が承認するケアマネジメントに関する各種研修会、講演会、シンポジウム、フォーラム等	5点	10点
④本学会が承認する他学会	2点	5点
⑤ケアマネジメントの関する論文、著書	10点	

2 合計点数のうち5点は本学会主催の学会大会への参加によるものでなければ ならない。

3 上記項目中「本学会の承認する」とあるのは、本学会理事会においてケアマネジャーの研修として適切と判断されたものをいい、資格申請者の申請に応じて理事会において審議を行う。

(申請に必要な書類)

第3条 認定ケアマネジャーの資格を申請するものは次の書類を提出しなければならない。

(1)認定ケアマネジャー資格申請書

(2)介護支援専門員登録証明書(写し)

(3)実務経験証明書

(4)第2条(申請要件)に定める実績を証明する諸書類

① 本学会主催の学会大会参加証、また講演、シンポジスト、研究発表等の場合はプログラム(抄録集)の写し。

- ② 本学会主催もしくは共催の研修会等、本学会の承認するケアマネジメントに関する研修会等、本学会の承認する他学会等についてはその参加証もしくは参加領収証、これらにおいて講演、シンポジスト、事例提供等を行った場合についてはプログラム(抄録集)の写し。
- ③ ケアマネジメントに関する論文、著書等についてはその別刷りもしくはコピー。
- (5) ケアマネジャーとして担当している、または担当した事例20例の一覧表。形式は本学会指定のものによる。
- (6) 上記担当事例のうち3例の事例報告。形式は本学会の規定による。
- (7) 6の3例にかかる「居宅サービス計画書」。形式は本学会の規定による。

(書類審査)

第4条 第3条の書類に基づき認定委員会において資格試験受験資格の有無が判定され、申請者に通知される。

(資格試験)

第5条 第4条の書類審査にて受験資格を認められた者について、試験委員による資格試験を行う。

(認定証の交付)

第6条 第5条の資格試験に合格した者について、理事会の議を経て理事長により認定ケアマネジャーの認定がなされ、認定証が交付される。

補 則

第1条 本細則は、平成15年5月30日から施行する。

第2条 本細則第3条の第4号「都道府県介護支援専門員協議会もしくはこれに相当する団体の会員であることを証明する書類」を削除する一部改正は、平成19年4月1日から施行する。

認定ケアマネジャー資格更新細則

(認定ケアマネジャー対象者)

第 1 条 認定ケアマネジャー資格は、日本ケアマネジメント学会認定ケアマネジャー制度規則第 5 章(資格の喪失)第 13 条の各号に該当せず、かつ以下の要件を充たした場合に更新できる。

(認定ケアマネジャー資格更新に必要な実績)

第 2 条 次表に示す学術大会(学会)、研修会等への参加、研修活動等の実績点数が合計 30 点以上であること。

区 分	一般参加	後援、シンポジスト、 研究発表、事例提供等
① 本学会主催の学術大会	10	15
② 本学会主催若しくは他団体と共催の研修会、 講演会、シンポジウム等	5	10
③ 本学会が承認するケアマネジメントに関する 各種研修会、講演会、シンポジウム、フォーラム等	5	5
④ 本学会が承認する他学会	2	5
⑤ ケアマネジメントに関する論文、著書	10	10

注 1) 表中③の「本学会が承認する」とあるのは、認定ケアマネジャー資格更新のための実績として承認することをいう。

注 2) 本学会が承認する他学会には、次のようなものがある。なお、老年学会合同大会の場合には、本学会学術大会参加点数に他学会の参加点数を加えることはできない。

日本老年医学会、日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科学会、日本老年精神医学会、日本老年看護学会(以上「老年学会加盟学会」、日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本介護福祉学会、日本リハビリテーション医学会、日本理学療法士学会、日本作業療法士学会、日本言語聴覚士学会、日本リハビリテーション看護学会等

この他の学会については、資格更新時の申請に応じて審議を行う。

注 3) ケアマネジメントに関する論文・著書は、団体等の紀要、報告書、情報提供のためのパンフレット等を除く。

注 4) 実績について判断しがたいときは、予め申し出があれば資格認定委員会において審議する。

(更新手続き)

第 3 条 資格の更新手続きは、学会の資格更新に関する通知に示された期間内に、次の書式及び審査料を添えて行わなければならない。特別の理由無く更新手続き期間を過ぎた場合は資格の更新はできない。

1 認定ケアマネジャー資格更新申請書

2 実績を証明できる次のような証明書類

(1) 学術大会、学会、研修会等の発行する参加証明書若しくは参加費領収書等(写)

(2) 講演、シンポジウム、研究発表等を行った場合には、プログラム・抄録集などの表紙と申請者の氏名の掲載されている頁の写し

(3) ケアマネジメントに関する論文(前文)の写し、著書の場合は表紙と申請書の執筆が分かる目次又は執筆者一覧頁等の写し

(4) 更新審査料(別に定める)

(資格更新の決定)

第 4 条 資格更新の決定は、資格更新の申請に応じ、認定ケアマネジャー資格認定委員会において審査し、理事会の議を経てその可否を理事長から申請者に通知する。

(資格更新登録)

第 5 条 資格更新を承認されたときは、別に定める登録・認定証料を学会に納め再登録をしなければならない。

(再登録の認定証交付)

第 6 条 認定証は、再登録手続きの完了後に交付される。

(更新資格の有効期間)

第 7 条 更新された資格の有効期間は、更新前有効期間終了日に続く 5 年間とする。

補則

第 1 条 第 13 条第 3 項の更新審査料は、2,000 円、第 5 条の登録・認定証料は 3,000 円とする。

第 2 条 本細則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

第 3 条 第 2 条第 2 項削除の改正は、平成 21 年 12 月 1 日から施行する。

日本ケアマネジメント学会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、日本ケアマネジメント学会 Japan Society of Care Management (JSCM) と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、東京都におく。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、ケアマネジメントに関する学際的な研究の推進及び研究者相互の連絡と協力の促進、内外の学会との連携、ケアマネジメントの技術の教育、社会啓発活動等を図り、質の高いケアマネジメントを実現し、援助を必要とする者及びその家族等の生活の質を高め、もって豊かな地域社会の創造に資するとともに、高齢者・障害者等に関する学問の進歩発展に貢献することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、下記の事業を行う。

1. 学術集会の開催
2. 学会誌の発行
3. その他本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会 員

(会員の資格)

第5条 本会の会員は、次のとおりとする。

1 正会員

ケアマネジメントに関する研究を行う者及びケアマネジメントに関わる業務に従事する者は理事会の承認を経て、本会の会員となることができる。(学生については大学院生以上のものとする。)

2 賛助会員

本会の目的に賛同し、本会の事業を援助する団体または個人は理事会の承認を得て、本会の賛助会員となることができる。

(会 費)

第6条 正会員及び賛助会員（以下「会員」という。）は、別に定めるところにより、会費を納めなければならない。

(退 会)

第7条 会員は、いつでも理事会に届け出て退会することができる。

また、会費を3年以上滞納した会員は、理事会において退会したものとみなす。

(除 名)

第8条 本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為をした会員、あるいは別に定める本会の規約に背く行為のあった会員は、理事会において除名することができる。

第4章 役 員 等

(役 員)

第9条 理事は10名以上20名以内をおき、理事長、副理事長及び総務担当理事等をおく。

2 監事2名をおく。

(理事及び監事の選任)

第10条 理事及び監事は、総会において会員の中から選挙等の方法により選任する。

2 監事2名は、理事長が推薦する。内1名は、会員資格に関わりなく専門性を有する者を推薦することができる。

3 選挙による選出理事の合議により推薦された理事及び前項の監事については、総会の承認を得て選任する。

4 理事長は、理事会において互選する。副理事長及び総務担当理事は理事長が指名する。

(任 期)

第11条 理事及び監事の任期は総会において承認された翌日から3年後の総会が終了する日までとする。理事及び監事は再選することができる。

2 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(理事長)

第12条 理事長は本会を代表する。

2 理事長に事故がある場合には、副理事長が職務を遂行する。

(理 事)

第13条 理事は、理事会を組織し、会務を遂行する。

2 理事会は理事の過半数（委任状提出者を含む）の出席をもって成立する。

(監 事)

第14条 監事は、会計及び会務の遂行状況を監査する。

(評議員会)

第15条 本会に評議員会を置くことができる。

(専門委員)

第16条 理事会は、委員を委嘱し会務の遂行を補助させることができる。

第5章 会 議

(会 議)

第17条 本会は、以下の会議を開催する。

- 1 理事会
- 2 総会
- 3 事例検討会、研究報告会等の学術集会
- 4 その他、理事会において必要と認める会議

(招 集)

第18条 理事長は、年1回通常総会を招集しなければならない。理事長が必要と認める
とき、または正会員の3分の1以上の請求があるときは、臨時総会を開く。

(議 決)

第19条 総会の議事は、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決
する。

第6章 会 計

(経 費)

第20条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(予算及び決算)

第21条 本会の予算及び決算は、理事会で議決のうえ、総会の承認を得てこれを決する。

2 会計担当理事は、毎会計年度の終了後、遅滞なく決算書をつくり監事の監査を経た
のち、総会に提出する。

(会計年度)

第22条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり3月31日に終わるものとする。

第7章 会則の変更及び解散

(会則の変更及び解散)

第23条 本会則を変更し、又は本会を解散するには、正会員の3分の1以上又は理事の
過半数の提案により、総会出席正会員の3分の2以上の同意を得なければならない。

附 則

第1条 本会則は、平成13年7月14日から施行する。

第2条 第3条(目的)は、平成15年6月20日から施行する。

第3条 第10条(理事及び監事の選任)は、平成21年6月18日から施行する。

日本ケアマネジメント学会役員名簿

(任期 3 年 ; 平成 19 年 6 月 22 日～平成 22 年総会終了日)

(敬称略)

区 分	氏 名	所 属 等
理事長	井形 昭弘	名古屋学芸大学学長
理事 (企画)	池田 省三	龍谷大学社会学部教授
理事 (編集)	遠藤 英俊	国立長寿医療研究センター内科総合診療部長
理事	落久保裕之	(NPO) 広島県介護支援専門員協会副理事長
理事	國光登志子	立正大学社会福祉学部教授
理事	佐々木栄子	埼玉医科大学保健医療学部看護学科教授
理事	佐藤美穂子	(財) 日本訪問看護振興財団常務理事
副理事長 (広報)	島内 節	国際医療福祉大学小田原保険医療学部看護学科教授
理事	白木 裕子	株式会社フジケア副社長
理事 (企画、研究、研修、)	白澤 政和	大阪市立大学大学院生活科学研究科教授
理事	副田あけみ	首都大学東京都市教養学部人文社会系社会学コース教授
理事	高橋恵美子	日本介護支援専門員協会副会長
理事 (企画)	竹内 孝仁	国際医療福祉大学大学院教授
理事	田中 滋	慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授
理事	橋本 正明	立教大学コミュニティ福祉学部教授
副理事長 (総務)	橋本 泰子	大正大学名誉教授
理事 (広報)	服部万里子	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授
理事	堀尾 慎彌	熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長
副理事長 (研究、研修)	前沢 政次	倶知安厚生病院総合診療科
監事	多田 哲夫	多田哲夫会計事務所長 (公認会計士)
監事	村尾 俊明	日本社会福祉士会相談役

(注) 区分欄の () は、事業担当の表示である。

平成 22 年度評議員名簿

(アイウエオ順 敬称略)

No.	氏 名	会員番号	勤 務 先
1	伊藤 光保	5 7 9	内科伊藤医院
2	内田恵美子	4 6 0	(株) 日本在宅ケア教育研究所
3	太田 秀樹	4 4 3	介護老人保健施設 生いき倶楽部
4	岡田 喜篤	4 4 9	川崎医療福祉大学
5	岡田 進一	3 9 8	大阪市立大学大学院 生活科学研究科
6	奥田亜由子	4 6 6	日本福祉大学大学院
7	★奥田 龍人	4 8 3	(医) 溪仁会 岩内町地域包括支援センター
8	奥西 栄介	3 8 8	福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科
9	香川幸次郎	4 6 1	岡山県立大学 保健福祉学部
1 0	加瀬 裕子	4 6 7	早稲田大学 人間社会科学部 健康福祉科学科
1 1	片山 壽	5 6	片山医院
1 2	金井 一薫	1 2 6	日本社会事業大学
1 3	金田 弘子	4 3 8	(医) もりもと 森本外科・脳神経外科医院
1 4	神谷 良子	4 1 4	特定非営利活動法人 神戸ライフ・ケア協会
1 5	★亀井 智子	9 1	聖路加看護大学
1 6	神崎 浩之	4 3 9	神崎社会福祉士事務所
1 7	佐藤 咲恵	4 3 7	陸前高田市 地域包括支援センター
1 8	篠田 道子	4 6 2	日本福祉大学 社会学部
1 9	柴尾 慶次	8 7	(福) 南海福祉事業会 フィオーレ南海
2 0	柴口 里則	6 0 4	(医) 社団水光会 水光会地域総合ケアセンター
2 1	柴山志保美	1 7 3	(福) 洛和福祉会 洛和ヴィラサラサ
2 2	島村八重子	5 4 8	全国マイケアプラン・ネットワーク
2 3	清水 洋子	4 4 7	東京医科歯科大学
2 4	★関田 康慶	4 4 8	東北大学大学院経済学研究科
2 5	★高砂 裕子	1 7 1	(社) 南区医師協会 居宅介護支援センター
2 6	高玉 真光	4 6 4	老年病研究所付属病院
2 7	武内千枝美	1 2 6 7	ケアマネジャーステーション あたご
2 8	田高 悦子	3 5 7 9	横浜私立大学 医学部 地域看護学
2 9	手島 陸久	7 7 7	日本社会事業大学 社会福祉学部
3 0	長安つた子	4 5 6	浅口市役所 健康推進課

3 1	西元 幸雄	7 0 0	(福) 青山里会 第2 小山田特別養護老人ホーム
3 2	★野中 猛	4 5 2	日本福祉大学 社会福祉学部
3 3	野中 博	4 4 2	(医) 博賢会 野中医院
3 4	濱田 和則	9 3	(福) 晋栄福祉会
3 5	林 和美	4 5 0	国際医療福祉大学 医療福祉学部
3 6	廣部すみえ	4 5 5	
3 7	福島 道子	4 4 4	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 看護学分野
3 8	★福富 昌城	4 5	花園大学 社会福祉学部
3 9	益田雄一郎	2 3 7	(財) 岐阜健康管理センター
4 0	松永喜久恵	4 6 5	(株) そうりんライフサポート
4 1	水下 明美	3 7 4	(株) ナイスケア
4 2	山崎きよ子	4 5 7	九州保健福祉大学 社会福祉学部
4 3	山崎 弘子	1 0 6 2	ライフクリエイティブオフィス (株) 孫子老ケアプランセンタ-
4 4	山田 圭子	1 8 5	群馬大学医学部保健学科 地域交流教育推進室
4 5	吉谷 敬	9 8 1	(医) やわらぎ
4 6	渡辺 光子	4 6 8	青山環境デザイン研究所

(注) ★印は、次期理事予定者。